

【表2-3 削りかけ資料：関東】

地域	時期	名称	製作			形状			用途 ほか	表 象 物	文 献	
			材の樹種	伐採時期	製作道具	削り	組合せ	その他				
群馬県												
水上町	(字不明)	小	のし花	ミズキ 〈みずぶさ〉・ 〈くるみ〉	1・11〈山入〉	はなかきなた	○	――	――	飾〈団子木と共に神棚に飾る〉	花	1
			より花				○	――	――	――	花	
	(字不明)	小	タワラ(総称)	――※	――	――	○	――	――	〈クルミ〉の木を俵状に束ねハナや団子を挿す	――	2
	藤原	小	カドホダレ	〈クルミ〉	1・2～11 〈若木迎〉	――	○	――	――	供(門に立てた杭に注連縄を張って2本吊るす)	――	3
			ハナ／ ケズリバナ				○	――	平板状？	供(神々に供える／森や道端の神々にはも供える〈くばりハナ〉)	花	
	栗沢	小	ケズリバナ	〈クルミ〉	――	――	○	――	――	供(神仏など)	花	4
			クバリバナ			ヤマナタ	○	――	――	供(戸外の道祖神や十二様)	花	
			粥カキ棒			――	○	2本1組	頭部十字 団子を挟む	15日の粥を混ぜる→飾(福俵の上におく)	――	
	谷川	小	粥カキ棒	ヌルデ	――	――	○	2本1組	頭部十字	15日の粥を混ぜる	――	4
	寺間	小	カキバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	――	ハナカキ	○	――	――	供(歳神・仏・稲荷・神棚・墓・道祖神・釜神・井戸神など)	花	4
片品村	(字不明)	小	ハナ1	ミズキ 〈ミズブサ／ アカボヤ〉	――	――	○	――	――	供(諸神)	花	4
			ハナ2				○	木に付ける	――	供(木に3コずつ挿し、屋外の神に供える)	花	
			十六バナ				○	クルミに 付ける	――	供(蚕神に)／※クルミに小刀で切り込みをいれハナを差し込む	花	
	土出	小	ハナ	ミズキ 〈ミズブサ・ アカボヤ〉	――	――	○	――	――	※ハナを作ること〈ハナカキ〉と言う。長く垂らす物、縮らせる物等幾種類があり、〈鶴にかく、 亀にかく〉等と言った。	花	5
			アーボヒーボ (総称)		――	――	○	団子木に 付ける	――	飾(三階のミズキにマユダマと共に付け、堆肥場に立てる)	作物	5
			クソカキ棒		――	――	○	――	頭部切込	座敷隅の〈俵(丸木を縛ったもの)〉の脇に飾る→水口に立てる	――	5
	土出 (伊閑町)	小	チデレバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	ハナカキ (小刀)	○	――	――	供(歳神・仏壇・恵比寿など)→初蚕のマブシに／※押して削る	花	4
			チデレ				○	――	――	供(神仏に供える、マユダマに吊るす)→初蚕のマブシにする／※削り片を数枚束ねたもの	――	
			ノシ				○	――	――	供(歳神、大神宮、門松)／※押して削る家も／※縮らせない	――	
	土出 (新井)	小	チデレバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	切り出し※	○	団子木に 付ける	――	飾(マユダマに枝に吊るす、正月棚・仏壇・井戸神・十二様などに供える)／※押して削る	花	4
	越本	小	ノシ	オニグルミ 〈クルミ〉	1・2 〈仕事始〉	コガタナ	○	マユダマに 付ける※	――	飾(門口およびマユダマにつける)	――	調05
			チデレ	オニグルミ 〈クルミ〉	1・2 〈仕事始〉	ナタ(専用)	○	――	――	飾(マユダマに飾る)	――	調05
	花咲	小	チデレバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	小刀	○	――	――	供(初午前日の〈オシラマチ〉で一升杵にマユダマと共に入れて床の間に)	花	4

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
片品村	花咲	チデレ	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	小刀	○	ミズキに 付ける	—	飾(ミズキに吊るして正月棚・釜神・神社・お堂・堆肥場などに)／※押して削る	—	4
		十六メエダマ			—	○	クルミに 付ける	—	—	—	
		ノシ			—	○	—	—	供(神棚)→初蚕のマブシにする／※縮らせない	—	
	菅沼	ヨジレバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2〈山入〉	—	○	団子木に 付ける	—	飾(団子木に掛け、座敷に飾る)／※1尺程に垂らしたもの	花	5
		ノシバナ		1・2〈山入〉	—	○	—	—	飾(家の門に掛ける)	花	5
		カユカキ棒		—	—	○	—	頭部切込	15日の飯を混ぜる→頭部に焼米を挟んで水口に立て、鳥除けの呪いにする〈カラスゴ〉	—	5
	摺淵	小	ハナ	—	—	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマと共に木に吊るす)→20日に下ろす	花	5
利根村	(字不明)	小	ヨリ花	〈ミズブサ〉・ ニワトコ	1・2〈若木迎〉	—	○	—	供(多くの神々に)	花	2・6
		小	ノシ花			—	○	—	飾(よいものは堆肥場飾りに用いる)	花	
		小	十六			—	○	—	供(オシラ様)／※16段に削る	—	
	(旧赤城 根村)	小	十六	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	供(オシラ様)／16段に削る、16は蚕の足の数を表す)／→20日に下ろしたニワトコで小さなマブシ〈花まぶし〉を作ってノシ花で縛って保管。初午の前日の〈オシラ待〉で、一升枡に山積みにしたマユダマと共に供える	—	7
		小	ノシ花	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	供(オシラ様以外の神々)、また堆肥場にはヨリ花を特に丁寧に飾る〈ケーニワカザリ〉。→20日に下ろす	花	7
		小	ヨリ花				○	—		花	
	園原	小	ハナ①	ミズキ 〈アケボノ ミズブサ〉	—	ハナカキナタ	○	—	供(神棚・恵比寿様・釜神様・井戸神様・道祖神など)	花	4
		小	ハナ②				○	—	飾(マユダマに飾る)	花	
		小	カメ				○	—	供(神棚・恵比寿様・釜神様・井戸神様・十二神・養蚕稲荷・道祖神など)	—	
		小	ミノ				○	—	供(神棚・恵比寿様・釜神様・井戸神様・古峰様・十二様・養蚕稲荷・道祖神・虚空蔵・便所神・墓地など)	—	
	穴原	小	ハナ1	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	ハナカキナタ	○	—	供(墓)	花	4
		小	ハナ2				○	—	供(釜神・テンジン・氏神・屋敷稲荷・十二様・武尊様など)	花	
		小	粥カキ棒	ヌルデ	—	—	○	2本1組	頭部十字	粥を混ぜる	—
川場村	谷地 (富士山)	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・釜神・石造物など松飾の跡に)	花	4
白沢村	(字不明)	小	かき花	ミズキ	1・2〈若木迎〉	—	○	団子木に 付ける	飾(団子木に掛け、玄関に吊るす)→20日に下ろす	花	26
	尾合	小	ハナ①	ニワトコ	—	—	○	—	供(家内外の神仏など)	花	4
		小	ハナ②				○	—	供(蚕神など)	花	
		小	粥カキ棒	ヌルデ 〈オウカド〉	—	—	○	2本1組	頭部十字	粥を混ぜる→飾(茶の間の軒下にさして火災除けに)、古いものを苗代に立てることも	—
月夜野 町	小川 (小和知)	小	ハナ	ヌルデ 〈オウカド〉	—	ハナカキナタ	○	団子木に 付ける	飾(マユダマにさす)／※削り片	花	4
		小	クバリバナ			—	○	—	供(宮・墓地など松飾りをした所)	花	
		小	ハラミバシ			—	○	(箸)	中太	粥を食べる→十字にして屋根に上げる	4

表2-3 削りかけ資料：関東2

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	月夜野	小	十六花	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神棚)→年末のススハキで燃し、その火で茶を沸かして神様に供える／※16段に削る	花	2
	下津	小	粥カキ棒	ヌルデ	—	—	○	2本1組	頭部十字	15日の粥を混ぜる→飾(座敷の南東隅の鴨居)	—	4
	下津 (小川島)	小	ホダレ①	キブシ 〈コメゴメ〉	—	—	○	—	—	供(諸神)	—	4
			ホダレ②	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	—	○	—	—	飾(歳神やマイダマ飾りに吊るす)	—	
			トボロ飾り	—	—	○	—	—	供(トボグチ)	—		
	(旧古馬 牧村)	小	のし花	〈くるみ〉・ シナノキ・ 〈やなぎ〉	1・2<若木迎>	はなかき刀	○	—	—	飾(玄関に吊るす)→20日に下ろす ※紐状に長くするため、生のまま削る	花	8
			より花	ミズキ・ ホオノキ・ 〈クルミ〉・ 〈ヤナギ〉	1・2<若木迎>	はなかき刀	○	—	—	飾(室内)→20日に下ろす／※のし花・より花いずれもかつては各家で作ったが、近年では正月2日<仕事始め>に月夜野町師(もろ)から売りに来た	花	8
	(旧桃野 村)	小	花	〈花の木〉	1・2<若木迎>	—	○	—	—	—	花	9
	新治町	羽場	小	ハナ	ヌルデ	—	—	○	—	—	供(歳神、デエドコ、オソウゼン様、稲荷、便所、寺、神社、十二様、お墓など)	花
ハラミバシ				〈オウカド〉	○			(箸)	中太	粥を食べる	箸	
東峰須川		小	ケズリバナ①	キブシ 〈コメゴメ〉	—	—	○	—	—	供(神仏)	花	4
			ケズリバナ②	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	—	○	—	—	供(家内外の神仏)	花	
			粥カキ棒	ヌルデ 〈オウカド〉	—	—	○	2本1組	頭部十字 団子を挟む	粥を混ぜて年占をする	—	
入須川		小	ハナ①	キブシ 〈コメゴメ〉	—	—	○	—	—	供(歳神・仏壇・恵比寿・馬屋・ダイドコ・井戸・オシラ様・大は屋内、小は屋外)	花	4
			ハナ②	ニワトコ	—	ナタ	○	ミズキに 付ける	—	供(神仏)	花	
			ハナ③	ミズキ	—	—	○	—	—	供(神仏)	花	
			ハナ④	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	—	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマにさす)／※削り片	花	
			粥カキ棒	ヌルデ 〈オウカド〉	—	—	○	2本1組	頭部十字	粥を混ぜる→水口に	—	
昭和村	(旧糸之 瀬村)	小	ノシ花	〈みずぶさ・ 八十木〉	1・11<若木迎>	はなかきなた	○	—	—	供(神々)→20日に下ろす<マユダマかき>／※ノシ花は長く垂らし、ヨリ花は短く縮らす※かつては渋川方面まで売りに行く人も	花	10
			ヨリ花	○			—	—		花		
	(旧久呂 保村)	小	のし花	〈みずぶさ〉	1・11<若木迎>	—	○	—	—	飾(団子木と共に大正月のオカザリの代りに飾る)	花	11
		小	より花	—		○	—	—		花		
沼田市	(字不明)	小	オウカドの 削りハナ	ヌルデ 〈オウカド〉	1・2<若木迎>	—	○	団子木に 付ける※	—	飾(団子木に付ける他、また大正月のオカザリ<コジクメ>を供えた墓・鎮守等に供える)	花	12

表2-3 削りかけ資料：関東3

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
		カメバナ	ヌルデ 〈オッカド〉・ ミズキ 〈ミズブサ〉・ ニワトコ	1・2<若木迎>	—	○	—	—	飾／※ハナを搔いてから輪切りにしたもの	花	12
		アーボヒーボ (総称)	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2<若木迎>	—	○	竹に付ける	—	飾(皮剥きでハナ搔いたもの(アワ穂)と皮付きでハナ搔いたもの(ヒエ穂)を竹に挿して堆肥場等に立てる)→20日に下ろす	作物	12
(旧薄根村)	小	花	ニワトコ・ 〈オッカド〉	—	—	○	団子木に付ける	—	飾(団子木に菓子などと共に飾り付ける)	花	13
(旧利南村)	小	十六	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(大正月のオカザリの代りに)→20日に下ろす	花	14・ 15
		ノシ花			—	○	—	—		花	
		ヨリ花			—	○	—	—		花	
		(ハナ)	〈オッカド〉	1・2<若木迎>	ハナかきなた	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマの木に付ける)→20日に下ろす／※オッカドを縦に割ってハナを搔いたもの	花	15
		アワボヒエボ (総称)	—	1・2<若木迎>	ハナかきなた	○	竹に付ける	—	飾(庭の堆肥に立てる)→20日に下ろす	作物	15
(旧川田村・ 字不明)	小	十六	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(〈オシラ様〉に)／※16は蚕の足の数	花	16
		ノシハナ	ニワトコ？	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(〈オシラ様〉以外の神々に供える。団子木にも飾り付ける)	花	16
		より花	ニワトコ？		ハナカキナタ	○	—	—		花	
(旧池田村・ 字不明)	小	ハナ1	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2<若木迎>	ハナかきなた	○	—	—	飾(マユダマに付ける他、大正月のメ飾り〈コクジメ〉の代りに飾る)→20日に下ろす	花	17・ 18
		ハナ2	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2<若木迎>	ハナかきなた	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに付けて大正月のオカザリの代りに飾る)→20日に下ろす	花	18
		アーボヒーボ (総称)	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2<若木迎>	—	○	竹に付ける	—	飾(皮剥きでハナ搔いたもの(アワ穂)と皮付きでハナ搔いたもの(ヒエ穂)を竹に挿して堆肥場に立てる)→20日に下ろす	作物	17・ 18
上発知	小	かき花	ミズキ	1・2<若木迎>	—	○	団子木に付ける	—	飾→20日に下ろす	花	19
		花	ヌルデ 〈おっかど〉	1・11 〈若木迎>	ハナかきなた	○	竹に付ける	—	飾(花菓子などと共に竹に飾り付け、堆肥場に立てて豊作願う)→20日に下ろす	花	18
佐山	小	粥カキ棒	ヌルデ 〈オッカド〉	—	—	○	2本1組	頭部十字	粥を混ぜる→供(神棚)→苗代の水口に立てる	—	4
佐山 (上佐山)	小	ニワトコ	ニワトコ	1・2<若木迎>	ハナかきなた	○	2本1組	—	飾(水引で縛って神棚に)→20日に下ろす／※16段のハナを搔く	—	18
発知新田	小	ハナ(長)	—	—	ハナかきなた	○	—	—	飾(茶の間の入口)→20日に下ろす／※長く垂らしたもの	花	18
		ケーカキ棒	ヌルデ 〈オッカド〉	—	ハナかきなた	○	2本1組	—	15日の小豆粥を混ぜる→供(神棚)→虫除けに水口に立てる	—	18
秋塚	小	十六バナ	ニワトコ	1・8～10 〈若木迎>	ハナかきなた	○	2本1組	—	飾(水引で縛って神棚に)→20日に下ろす／※16段のハナを搔く	花	18
		ケーカキ棒	ヌルデ 〈オッカド〉	1・8～10 〈若木迎>	ハナかきなた	○	2本1組	—	15日の小豆粥を混ぜる→供(神棚)→虫除けに水口に立てる	—	18
奈良	小	ハナ	ヌルデ 〈オッカド〉	(購入)※	(購入)※	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに付けて大正月のオカザリの代りに飾る)→20日に下ろす／※大倉(北部の山村)から売りに来た	花	18

表2-3 削りかけ資料：関東4

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	原町	小	ハナ	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2〈若木迎〉	—	○	—	—	飾(団子と共に)	花	12
	井土上	小	カメ(亀)	—	1・2〈若木迎〉	—	○	団子木に 付ける	—	飾(団子の木に付ける)／※ハナの比較的短いもの	—	12
			カドバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	(購入)※	(購入)※	○	—	—	飾(茶の間の玄関に吊るす)／※月夜野町師(もろ)より売りに来る	花	12
	下沼田	小	カギバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	(購入)※	(購入)※	○	—	—	飾(茶の間の玄関に吊るす)／※月夜野町師(もろ)より売りに来る	花	12
	柳町 他	小	ハナ	—	(購入)※	(購入)※	○	団子木に 付ける	—	飾(ハナ菓子などと共にミズキの枝に付ける)／※旧薄根村近村から売りに来た	花	20
	東倉内	小	飾りハナ(短)	—	(購入)※	(購入)※	○	団子木に 付ける	—	飾(団子木に付け、大正月の松飾の跡に飾る)→20日に下ろす／※薄根方面から売りに来る	花	21
			ハナ(長)	—	(購入)※	(購入)※	○	—	—	吊るす→20日に下ろす／※店で販売しているものを買う	花	21
	下久屋	小	ニワトコ	ニワトコ	1・11 〈若木迎〉	—	○	2本1組	—	飾(水引で縛って神棚に)→20日に下ろす／※16段のハナを搔く	—	12
	上沼須	小	ハナ※	〈ミズブサ〉	(購入)※	(購入)※	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマの木に付ける)→20日に下ろす／※カメ・ツルと呼ばれ、行商が売りに来た	花	15
	沼須	小	カメ	〈ミズブサ〉	1・2 〈若木迎※〉	ハナかきなた	○	団子木に 付ける	—	飾(ミズキに飾り付ける→20日に下ろす／※短いハナ ※ミズキは庭先に植えてある	—	12・ 15
			ツル	ミズキ 〈ミズブサ〉・ ヌルデ 〈オッカド〉			○	—	—	飾(玄関)→20日に下ろす／※長いハナ	—	
			(ニワトコ)	ニワトコ			1・2〈若木迎〉	×	×	2本1組	—	供(2本を水引で縛り神棚に飾る)→20日に下ろす
	新町	小	ハナ1(短)	〈ミズブサ〉・ 〈オッカド〉	1・2〈若木迎〉	ハナかきなた	○	枝に付ける	—	飾(マユダマと共に枝に飾る)→20日に下ろす／他に、14日:藁やハナをマフシに見立て、マユ ダマ16個と共に神棚の〈オシラ様〉に供える→初午:小正月で残ったハナ(中央に穴が開いた 輪切り状のもの〈銭ばな〉)を、藁のマフシ・マユダマと共に、床の間に掛けたオシラ様の掛軸に 供える	花	15
			ハナ2(長)	—			○	—	—	飾(正月棚・神棚)→20日に下ろす／※長く垂らす	花	
			(ニワトコ)	ニワトコ			—	×	×	2本1組	—	供(2本を水引で縛り神棚に飾る)→20日に下ろす
	下川田	小	ノシバナ	ニワトコ・ ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2〈若木迎〉	—	○	—	—	飾(門松の杭の間に渡した縄2本に吊るす)／※長く垂らすもの	花	12
	屋形原 (篠尾)	小	アーボヒーボ (総称)	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2〈若木迎〉	—	○	竹に付ける	—	飾(皮剥きでハナ搔いたもの(アワ穂)と皮付きでハナ搔いたもの(ヒエ穂)を竹に挿して物置に 立てる)→20日に下ろす	作物	12
高山村	(字不明)	小	花	ニワトコ・ ヌルデ 〈おっかど〉・ ミズキ 〈みずぶさ〉	1・2〈若木迎〉	花かき鉈	○	—	—	供(門前・神棚・氏神・屋敷稲荷・墓等)	花	22・ 23
			あーぼひーぼ (総称)	ヌルデ 〈おっかど〉	1・2〈若木迎〉	花かき鉈	△	竹に付ける	—	飾(竹に挿して堆肥場等に立てる)	作物	23

表2-3 削りかけ資料：関東5

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	本宿	小	けーかき棒	ヌルデ 〈おっかど〉	1・2<若木迎〉	花かき鉈	△	2本1組	頭部十字	15日の小豆粥を混ぜる→供(神棚)→鳥除けに水口に立てる	—	23
東村 (吾妻郡)	(字不明)	小	はな	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神棚)	花	24
			(十六)	—	—	—	○	2本1組	—	供(神棚)／※16段のハナを削る	花	
中之条町	(字不明)	小	ホダレ	〈ミズブサ〉・ 〈コメゴメ〉	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(正月さま)／※3段に削る	—	25
			クルマバナ	—	—	—	○	竹に付ける	—	※水車のように削ったものを竹に挿す	花	
			ナゲホダレ	〈コメゴメ〉	—	—	○	—	—	※小さなハナ、〈ナゲバナ〉とも言う	—	
			十二段のハナ	—	—	○	2本1組	—	供(〈十六マイダマ〉と共に〈オシラサン(蚕神へ)〉)／※12段に削る	花		
	栃窪	小	ハナ	ニワトコ	1・2<山入〉	ハナカキナタ	○	—	—	供(全ての神様)→〈俵〉の形に縛っておき、田植の赤飯をふかす時に焚く	花	25
			ジュウロク	ニワトコ			○	—	—	—	—	
	上反下	小	ハナ・ ケズリバナ	キブシ?〈コメ ゴメ〉	1・2<山入〉	ハナカキナタ	○	※	—	供(神棚4本・オカイコ神4本・カマ神1本・門に松枝と共に1対)／※左右対称に削る→保管しておき春蚕のマブシとする。又は田植祝などの際の焚き物にする	花	4・25
			ジュウロク	—			○	2本1組	—	供(カイコガミ)／※片側4段×2のもの2本	—	
	岩本	小	クルマバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	ハナカキナタ	○	竹に付ける	—	供(2コを竹に挿し、松の代わりに神棚・門口に供える)	花	4・25
			ホダレ				○	—	—	—	—	
			ツルシバナ				○	—	—	飾	花	
			カメノコ				○	—	—	飾／※亀の形状に似せる	—	
			エビスのハナ (短)				○	—	—	供(エビス)	花	
			大黒のハナ				○	—	—	供(大黒)	花	
			ノシ				○	—	—	飾(玄関)／※旧家が作るもので小作人が飾ると文句を言われた／※縮らせない	—	
			十六バナ	キブシ 〈コメゴメ〉	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(蚕室)	花	
			ナゲバナ／ ナゲホダレ				○	—	—	供(戸外の神・神社・祠・石仏・墓など)	花	
			アーボヒーボ	ヌルデ 〈オッカド〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(堆肥)	作物	
			ケエカキボウ ／カラストマリ		—	刃物	○	2本1組	頭部十字 粥を挟む	15日の粥を混ぜる→苗代の水口に立てて鳥除けにする	—	
	蟻川	小	ハナ	〈コメゴメ〉・ 〈ミズブサ〉	1・4<若木伐〉	ハナカキナタ	○	団子木に 付ける※	—	供(団子木に吊るすほか、正月の松飾の跡・墓・道祖神に供える)	花	25
大塚	小	ハナ(大)	ミズキ 〈ミズブサ〉・ ムラサキシキブ	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚・歳神・仏壇・門松・稲荷・墓地など)	花	4・ 136	
		ハナ(小)	キブシ〈コメゴ メ〉・ムラサキ シキブ	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚・歳神・仏壇・門松・稲荷・墓地など)	花		
		ハナ2	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマに吊るす)	花		
		二段バナ	—	—	○	—	—	供(諸神)	花			

表2-3 削りかけ資料：関東6

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	五反田	小	三段バナ	キブシ 〈コメゴメ〉	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(諸神)	花	4・136	
			ホダレ				○	2本1組	—	飾(玄関の横)	—		
			キクバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	木に付ける	—	飾(座敷)	花		
			ツル(鶴)				○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす)	—		
			カメ(亀)				○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす)	—		
		小	ホダレ	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・4(山入)	ハナカキナタ	○	団子木・竹に付ける※	—	飾(そのまま団子木に吊るすほか、竹に挿して神棚・正月棚・座敷に飾る)	—	4・25・136	
			吊るしバナ				○	2本1組	—	供(歳神)→春蚕のマブシにする	花		
			クルマバナ①				○	団子木に付ける	—	飾(団子木に飾る)	花		
			クルマバナ②				○	竹に付ける	—	供(竹に2コずつ挿し、神棚、仏壇、屋敷神、歳神などへマユダマと共に供える、玄関にノシと共に供える)→初蚕のマブシにする	花		
			ノシ				○	—	—	供(トボグチにクルマバナと共に吊るす)／※縮ませない	—		
	ナゲバナ①	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・4(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(恵比寿・馬屋の神・便所神・作業所・井戸神)	花				
	ナゲバナ②				○	—	—	供(墓・道祖神・庚申・観音など正月のお飾り〈コジツクメ〉を上げたところに供える)	花				
	ナゲバナ③	キブシ 〈コメゴメ〉	1・4(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(屋外の神仏や墓)	花				
	十六ダン・十六バナ	ニワトコ・ミズキ 〈ミズブサ〉	1・4(山入)	ハナカキナタ	○	2本1組	—	供(オカイコ神に供える)／※1本で8段にし、8段×2本で16段とする	花				
	寺社原	小	ハナ	〈コメゴメ〉	—	ハナカキナタ	○	—	—	※2段にするものが多い→飾ったものは下ろさずそのままにしておく	花	25	
	折田	小	8段のハナ	ニワトコ	1・4〈仕事始〉	ハナカキナタ	○	—	—	供(〈オシラサン〉)→18日に下ろしくマユカキ、初午の際マイダマを作る焚き物にした／※中之条町の11日の〈ボク市〉で売る人もあった	花	25	
六合村	(字不明)	小	ハナ／ホダレ	ヌルデ〈ヌリデーボー〉・〈コメゴメ〉	1・6	ハナかきなた	○	—	—	飾(大正月のオカザリを取った跡・氏神・仏壇・墓・庚申塔・石仏・十二様など)	花	27・28	
			アワボヒエボ	—			—	—	○	—	—		飾(堆肥の上に立てる)
	小倉	小	ハナ	クヌギ	—	—	—	○	—	—	飾(薪俵に添えて神棚に)	花	29
	長平	小	ハナ	〈コメゴメ〉・〈カツボコ〉	1・2〈仕事始〉	—	—	○	—	—	供(諸方の神)	花	27
	和光原	小	ホダレ	ヌルデ〈ヌリデーボー〉・〈コメゴメ〉	1・2〈仕事始〉	セン	—	○	—	—	飾(大正月の松飾の跡に飾る) ※長いハナ、短いハナがある	—	27
	世立	小	ハナ	ヌルデ 〈カツボク〉	1・6〈六日山〉	セン	—	○	—	平板状	供(家内外の神仏、マユダマにもかける)	花	調05
	品木	小	サクノハナ	ヌルデ 〈カツボク〉	1・2 〈キノメ〉	—	—	○	—	—	供(神々に供える〈カザリカエ〉)	花	30
	梨木	小	ハナ	ヌルデ	—	セン	—	○	—	—	供(屋外の神仏や井戸神)	花	4

表2-3 削りかけ資料：関東7

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	荷付場	小	ハナ	ヌルデ 〈カツボク〉	大安の良い日	セン	○	――	平板状	供(神棚・歳神棚・屋敷稲荷へ各2本、仏壇・恵比寿・釜神・便所神・土蔵・井戸神・道祖神・観音堂などへ各1本)	花	4・ 調05	
			堆肥のハナ			セン	○	――	――	飾(マユダマとともに肥場に)	花		
	小雨	小	ホダレ	〈コメゴメ〉	1・2〈仕事始〉	ハナかきなた	○	2本1組	――	供(12段、又は16段に削ったもの2本を神棚に、く十六のオイヒラさんに上げる>という)	――	27・ 30・ 調05	
	生須	小	ハナ	ミツバウツギ・ キブシ?〈コメ ゴメ〉	1・2〈仕事始〉	ハナかきなた	○	2本1組	――	供(神棚・稲荷・墓・道祖神・門松など)	花	4	
			ホダレ	――		○	2本1組	――	供(12段のもの、16段のものを2本セットで神棚に)	――	27		
	赤岩	小	ホダレ	ヌルデ〈ヌリデ ンボウ〉	1・2〈山始〉	ホダレカキ	○	――	――	飾(松飾を外した所に)	――	30	
	吾妻町	(旧岩島 村)	小	ホダレ	〈コメゴメ〉	1・2〈山入〉	――	?	――	――	供(神棚・仏壇・屋外の松飾・神社仏閣)→20日の朝に燃やす	――	31
		太田	小	花	ニワトコ	1・2〈山入〉	――	○	――	――	飾(門松のほか、付近の社・石碑・墓等に供えるくやし参り)	花	32
		岩井	小	ハナ	ヌルデ 〈オウカド〉	――	ハナカキナタ	○	2本1組	――	供(門松・正月様)	花	4
				十六バナ			○	2本1組	――	供(オシラ様)	花		
			アワボヒエボ	○			竹に付ける	――	飾(堆肥)	作物			
			粥カキ棒	○			2本1組	頭部十字	粥を混ぜて年占をする	――			
岩下		小	ハナ・ナゲバナ	ニワトコ	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	――	――	供(諸神)	花	4・33	
			ホダレ	〈コメゴメ〉		○	――	――	供(神仏など)	――			
			アワボヒエボ	ヌルデ		――	○	竹に付ける	――	飾(堆肥)	作物		
			粟俵・稗俵	――		――	○	――	――	――	作物		
岩下 (姉山)	小	十六段のハナ	キブシ 〈コメゴメ〉	――	ハナカキナタ	○	2本1組	――	供(蚕神)	花	4		
松谷	小	ハナ	キブシ 〈コメゴメ〉	1・2(山入)	ハナカキナタ	○	――	――	供(玄関・屋敷神・墓地・道祖神)／※左右対称に削る	花	4		
		ホダレ			○	――	――	供(門口・神棚・歳神棚・仏壇・釜神等、正月様には大きいものを供える)／左右対称に2段削る	――				
		ナゲバナ			○	――	――	供(戸外の神仏)	花				
		十六バナ			○	2本1組	――	供(蚕神)	花				
		アーボヒエボ1	キブシ 〈コメゴメ〉	1・2(山入)	――	○	竹に付ける	――	飾(堆肥)	作物			
			ヌルデ		――	○	竹に付ける	――		作物			
		アーボヒエボ2	キブシ 〈コメゴメ〉	1・2(山入)	――	○	竹に付ける	――					
		粥カキ棒	ヌルデ 〈オウカド〉		――	○	2本1組	頭部十字	粥を混ぜる→供(歳神様のマユダマの下)、かつては麻畑に立てた	――			
三島	小	ハナ	キブシ 〈コメゴメ〉・ ヌルデ〈ヌル デンボウ〉	――	ホダレナタ	○	――	――	供(歳神様)／※左右対称に3段削る	花	4		
		十六バナ	――	○		2本1組	――	供(蚕神)→飾(麻尺やハラミバシと共に麻畑へ)	花				
		ナゲバナ	ニワトコ	――		○	――	――	供(屋外の諸神)／※左右対称に削る	花			

表2-3 削りかけ資料：関東8

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
長野原町		アーボヒーボ 作大将	ヌルデ<ヌル デンボウ>	——	——	○	竹に挿す	——	供(麻尺と共に堆肥に)→麻畑に立てる	作物		
				——	——	○	男女1対	目鼻を描く	供(釜神様)	人形		
	坂上	小	ホダレ	——	1・3<山入・ 仕事始>	——	?	——	——	飾(大正月の松飾の跡に飾る)	—	34
	須賀尾	小	ハナ	キブシ <コメゴメ>	——	——	○	——	——	供(神仏など)	花	4
	本宿 (丑ヶ淵)	小	ハナ	キブシ	——	——	○	——	——	供(屋内外の神々・門松)、左右対称に削る	花	4
			十六バナ	<コメゴメ>	——	——	○	2本1組	——	供(オシラ様)→初午に焚く	花	
	(全域)	小	ホダレ(ハナ)	<コメゴメ>	1・2<山入>	ホダレナタ	○	——	——	供(歳神棚・家内外の神々・門松杭・墓)	花	35
			十六ホダレ	<コメゴメ>		ホダレナタ	○	2本1組	——	供(神棚の横)／※8段×2本を水引で縛る	—	
			アワボヒエボ (総称)	ヌルデ		——	△	竹に付ける	——	飾(竹に挿して堆肥場に立てる)	作物	
	川原畑	小	ホダレ	<コメゴメ>	1・2(山入)	ホダレナタ／ ホダレカキ	○	——	——	供(歳神棚・屋内外の神仏・門松跡・墓地)	—	35
			アワボヒエボ	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>		——	△	竹に付ける	——	飾(堆肥)	作物	
	林	小	ホダレ／ハナ	キブシ？<コメ ゴメ>	1・2<山入>	ホダレナタ／ ハナカキナタ	○	——	——	供(松飾の跡)／※左右対称に2段削る	花	2・4・ 33・ 35・ 136
			十六バナ				○	——	——	供(イロリの主婦の座の側にある柱上部に飾り、オシラサマ(蛭神)に供える)／※キブシの2枝に分かれたものを利用	花	
			アーボヒーボ カユカキ棒	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>	1・2<山入>	——	○	竹に挿す	——	飾(堆肥)／麻栽培の頃はホダレ、マユダマ、笹竹(麻尺と呼ぶ)など共に麻畑に立てた	作物	
	横壁	小	ホダレ(タワラ)	<コメゴメ>	1・2<山入>	ホダレナタ	○	タワラに 付ける	——	供(歳神棚・屋内外の神仏・門松跡・墓地に供える、ヌルデを束ねた<タワラ>を2束作り、一方に ホダレ、もう一方にマユダマを立ててカマドの傍に置く)	—	35
長野原	小	アワボヒエボ	ヌルデ	1・2(山入)	——	△	竹に挿す	——	飾(堆肥)	作物	4・35	
羽根尾	小	キッカケ ホダレ	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>	1・2<山入>	ホダレナタ	○	——	——	※ヌルデを2ツ割にして少し削ったもの	—	35	
嬬恋村	袋倉	小	ホダレ	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>	——	ホダレナタ	○	——	——	飾(松飾をしたところ全て<飾りかえ>)	—	36
桐生市	梅田町 (石鴨)	小	ハナ	<トロノキ>	1・11	——	○	竹に付ける	——	供(割竹に挿し、大正月の松飾の跡に立てる)	花	37
			仏花				○	——	——	供(墓)／※3段に削る	花	
	梅田町 (清水)	小	ハナ	——	——	——	○	竹に付ける	——	(写真のみ)	花	37
			ケエカキボウ				——	○	——	——	(写真のみ)	
	梅田町 (皆沢)	小	ハナ	ニワトコ	——	——	○	——	——	供	花	37
			ハナ(16段)				○	——	——	供(大神宮)	花	
			ハナ(3段)				○	——	——	供(墓・庚申様等)	花	
			アボヒボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	供(竹を3つに割り、ハナ1本・棒2本(アボヒボ)を挿し、神棚・門松・氏神様に供える)	作物	
	梅田町 (居館)	小	ハナ	<ハナの木>・ ニワトコ	——	——	○	——	——	供(マユダマと共に神棚へ)	花	37
十六			○	——			——	※ハナをたくさん削るもの	花			

表2-3 削りかけ資料：関東9

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
黒保根村	川内町	小	二段バナ	ニワトコ	――	――	○	――	――	供(井戸や門松に飾り、後に稲荷様に備える)	花	4	
			三段バナ							――	――		○
	上田沢	小	ハナ①	ニワトコ	――	ハナカキナタ	○	――	――	供(諸神)	花	4	
			ハナ②	――			――			○	幣2花1を セット		――
			ハナ③	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	ハナカキナタ	○	――	――	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・釜神・井戸神・墓地・山の神・堆肥場など)	花		
			粥カキ棒	ミズキ〈ミズブサ〉・ヌルデ	――	――	○	2本1組	頭部十字 団子を挟む	15日の粥をまぜる→供(神棚)／※米と麦を表す	――		
			カタナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	――	○	大小1組	――	供(大神宮)	刀		
			上田沢 (涌丸)	小	カキバナ	ヌルデ・ 〈ミズブサ〉・ ニワトコ	――	ハナカキ ナタ※	○	――	――		※ナタは勢多郡東村花輪の鍛冶屋から購入
	下田沢	小	ハナ(大)	ニワトコ・ミズ キ〈ミズブサ〉	――	ハナカキナタ	○	――	――	供(歳神)	花	4	
			ハナ(小)	――			――			――	供(仏壇・大神宮・恵比寿様・墓地・虚空菩薩・道祖神・地藏・外の神様・鎮守・村の神)		花
			十六段バナ	ニワトコ	――		――	――	――	供(お勝手又はカイド・肥場等)／※蛭神に供えともいう	花		
			カタナ	ヌルデ 〈ノデンボウ〉	――		――	○	2本1組	――	供(マユダマの根元)／※人の見えない所に飾ると魔除になる		刀
	下田沢 (清水)	小	ハナ(2段)	ニワトコ	――	ハナかき鉈	○	――	――	供(大神宮3本・恵比寿2本・その他の神1本ずつ供える。その際、大正月の松を抜きくお松別れ 〉、代りにハナを挿す)	花	39・ 40	
			ハナ(16段)				――			――	――		供(仏様)
	下田沢 (出合原)	小	ハナ	――	――	ハナカキナタ	○	――	――	飾る(門松の松を抜き、代りにハナを挿すくお松返し)	花	39	
	下田沢 (柏山)	小	ハナ	ニワトコ	――	ハナカキナタ	○	――	――	供(座敷に飾ったマユダマの根元に立てる・神棚に供える)→16又は17日に下ろして燃やす、 又は最初の熟蚕〈ズウ〉のマブシにする(これをくハナズウと呼ぶ)	花	39・ 41	
			ジュウロクバナ	――	――	ハナカキナタ	○	――	――	供(お蚕の神様〈ジュウロクデンジ〉)	花		
			ダイトウ・ショウ トウ(大小の刀)	くノデンボ	――	――	○	――	――	飾(座敷に飾ったマユダマの根元に立てる)→泥棒除けに部屋の隅に立てておく	刀		41
	東村 (勢多郡)	小中 (萩平)	小	けずり花	――	――	――	○	――	――	飾	花	42
		小中 (暮坪)	小	けずり花	――	――	――	○	――	――	飾	花	42
草木		小	ハナ	ニワトコ	――	――	○	――	――	供(屋内・神社・墓)	花	42	
			(ハナ)	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割竹にヌルデの棒と共に挿して堆肥場に立てる)	花		
(栗生野)		小	ハナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	――	○	――	――	供(神棚)	花	42	
神戸	小	花	ニワトコ・ミズキ 〈ミズブサ〉・ ヌルデ〈ノデン ボウ〉	――	――	○	――	――	※16段の花も削る	花	42		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
新里村	小夜戸 (大畑)	小	ハナ	ニワトコ・ミズキ	1・11	ハナカキナタ	○	2本1組 竹に付ける	—	供(歳神様に2本)	花	4
			ヒトツバナ				○	—	—	供(玄関に吊るす)	花	
			二段のハナ				○	—	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・井戸神・オシラ様・山の神)	花	
			十六段の花				○	—	—	—	花	
			カタナ				○	大小1組	—	供(歳神様の下)→子供の玩具に	刀	
	小夜戸 (字不明)	小	ハナ	ニワトコ	1・11	—	○	—	—	飾(大正月の松飾りを取った跡に挿す)	花	42
	山上	小	おかざりの花	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(門松等、正月の松飾をあげた場所全て)	花	43
		小	カキバナ	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(屋外の松の跡・屋敷稲荷・蚕室など)	花	4
			十六バナ				○	—	—	供(歳神様・大神宮・床の間)	花	
	大間々町	(字不明)	小	ハナ	ヌルデ・ニワトコ	1・6<山入> or数日前	ハナカキナタ	○	—	—	飾(マユダマと共に、大正月の松飾りをした場所に) →16日に下ろし最初の熟蚕のマブシにする、又は初午の団子を煮る焚き物にする	花
ハナ(16段)				ニワトコ	1・6<山入> or数日前	ハナカキナタ	○	—	—	飾(神棚又は座敷の十六繭玉に供える)→16日に下ろし最初の熟蚕のマブシにする、又は初午の団子を煮る焚き物にする	花	44
アワボヒエボ (総称)				ニワトコ	1・6<山入> or数日前	ハナカキナタ	○	シラハギや 竹に付ける	—	飾(シラハギや竹の先に挿し、堆肥場に立てる)	作物	44
木刀／ヌルデ ンボウ刀				ヌルデ	—	—	△	—	—	飾(座敷に飾った繭玉の脇に立て置く)	刀	44
狸原		小	ジュウロクギ	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(16個のマユダマ<ジュウロクデンジ>と共に神棚に供え繭の豊作を祈った)／※16段に削る	—	45
小平		小	ハナ(2段)	ニワトコ	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	竹に付ける	—	供(歳神・天照皇太神宮・三ボウ荒神、屋ビラ様(屋根)・恵比寿・釜神・床・入口)	花	4・45
			カドバナ				○	—	—	供(門口に渡した縄に一年間下げておく)	花	
			ハナ(16段)				○	—	—	供(神棚の大神宮様に一年間)	花	
浅原		小	ハナ	ニワトコ・ヌルデ<ノー デンボー>	(購入)※	(購入)※	○	—	—	飾(門松を取った跡に飾る、又門外で松をあげた場所にも全部飾る)→20日の風にあわせるな といいい19日中に下げる→春蚕の最初の熟蚕のマブシにする→繭をかいいた後は畑で燃す／※ <大門>から売りに来る	花	45
			ハナ(16段)	—	—	—	○	—	—	16段のものを必ず1本作る	花	
塩沢		小	ハナ	ニワトコ	1・6<山入>	飾り鉦 (専用)	○	※	—	供(歳神・大神宮・仏・オカマサマ・恵比寿・蚕室・井戸・稲荷・使所・門松を立てた場所・田畑・ 墓・鎮守・庚申様)→春蚕の熟蚕<ハナズウ>のマブシにする→繭を掻いた後燃す／※竹に挿し て飾る家も	花	46
			ハナ(16段)				○	—	—	飾(座敷に飾ったマユダマの根元に)／※16段に削る	花	
塩原		小	ハナ	ニワトコ	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	—	—	—	花	45
			アーボヘーボ (総称)				○	竹に付ける	—	飾(竹にハナをいくつも挿し、堆肥場に挿す)	作物	
上神梅		小	ハナ	ニワトコ	(購入)※	(購入)※	○	—	—	飾(屋敷稲荷様など松飾した場所に)／※2段。16段削る家もある ※大間々にハナ市がたつ	花	45
			木刀	ヌルデ <ノデンボ>	—	—	○	—	—	飾(座敷に飾ったマユダマの所へ供え置く) /※鐸の部分にハナをかく	刀	
神梅		小	ハナ	ニワトコ	1・6<山入>	—	○	—	—	供(神棚)	花	45

表2-3 削りかけ資料：関東11

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	下神梅	小	ハナ	——	——	○	——	——	飾(おシメと共に臼・墓等に)	花	45		
			(粟穂稗穂) ※名前不明	ヌルデ	——	——	○	——	——	飾(く所の枝)にハナ・皮付きの棒、皮剥きの棒を何本も挿し、堆肥場に立てる)		—	
	高津戸	小	ハナ	ニワトコ	1・2or5 〈山始め〉	ハナカキナタ	○	——	——	供(ジュウニサマにあげるといって神棚に供える)→1年中あげておき、古いものは庭の隅に捨てる／※15段位の花を削る	花	45・47	
			削り花				○	——	——	——	花		
			十六段菊				○	——	——	——	花		
	上桐原	小	カキ花	——	——	——	○	——	——	飾(大正月の松飾と取り替える。マユダマと共に飾る)	花	45・47	
	下桐原	小	かき花	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾(大正月の松飾と取り替える)	花		
二軒在家	小	ハナ(16段)	ニワトコ	3日前	ハナカキナタ	○	——	——	——	花	45		
笠懸町	清水	小	ケズリバナ	——	——	——	○	——	——	飾(門松の跡に挿すくオカザリカエ)	花	48	
薮塚本町	大久保	小	ハナ①	ニワトコ	——	花掻き鉈	○	——	——	供(竹輪に吊るし、神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・釜神・井戸神・墓地・石造物・オシラ様・山の神・稲荷社・倉などに供える)	花	4・49	
			ハナ②				○	——	——	供(墓)	花		
			十六段の花				○	——	——	供(神棚の前のナゲシ)	花		
			十二段の花 (十二天神)				○	——	——	供(神棚の前のナゲシ)	花		
新田町	(全域)	小	ハナカキ・ハナギ・カキバナ	ニワトコ・ 〈ヤナギ〉	——	鎌※	○	——	——	供(歳神・大神宮・仏・氏神・墓・門松等、正月飾りをした所に供える)／※刃物はく先の曲がった小さい鎌>を使用	花	50	
		小	〃				○	2本1組	——	供(大神宮)／※12か16段削る	花		
	村田	小	ハナギ	ニワトコ・ 〈ヤナギ〉	——	鎌※	○	——	——	飾→苗代の水口に立てる	—	50	
	反町	小	ハナギ	〃	——	鎌※	○	——	——	飾→苗代の水口に立てる	—	50	
	上田中	小	ハナギ	〃	——	鎌※	○	餅を挟む	頭部十字	飾(頭部を四ツ割にして餅を挟み、飾る)	—	50	
	花香塚	小	ハナギ	〃	——	鎌※	○	餅を挟む	頭部十字	飾(頭部を四ツ割にして餅を挟み、飾る)→苗代の水口に立てる	—	50	
	木崎	小	けずり花	ニワトコ	——	——	○	——	——	供(恵比寿・かまど神・井戸神・便所神・稲荷様等)	花	51	
			十六の花				○	——	——	供(神棚の大神宮のお宮に、木の根元が右になるよう供える)／※16段にする	花		
		下田中	小	ハナギ	ニワトコ・ 〈ヤナギ〉	——	鎌※	○	——	——	飾→苗代の水口に立てる	—	50
	太田市	北金井	小	ハナギ	——	——	——	—	——	——	供(マユダマ等と共に年神様に)	—	52
吉沢		小	ハナギ	——	——	——	—	——	——	飾(松飾を取った跡に)	—	52	
矢田堀		小	ハナ	ニワトコ 〈ハナギ〉	——	——	○	——	——	飾(マユダマと共に松飾の代りに)	花	52	
			十六バナ		——	——	○	——	——	供(大神宮・屋敷神)	花		
内ヶ島		小	ハナギ(2段)	ウツギ	——	——	○	——	——	供(大神宮)	—	52	
			ハナギ(16段)	ウツギ	——	——	○	——	——	供(年神様)→15日の小豆粥をかき混ぜるくカユカキ	—		
			ハナギ	——	——	——	—	竹に付ける	——	飾(16日に馬屋肥を出し、そこにハナギを挿した竹を立てた)	—		
新島町	小	ハナギ	——	——	——	—	——	——	飾(松飾をした場所に)	花	52		

表2-3 削りかけ資料：関東12

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
大泉町	小舞木	小	ハナギ	—	—	—	—	—	飾(マユダマと共に、松飾を取った場所に飾る)→19日までに下ろす。〈20日の風にあてるな〉と言った	花	52
	由良	小	花木	〈花木〉	—	—	○	—	飾→19日晚か21日朝に下げる。〈二十日の風にあてるな〉と言う。	花	52・53
	西野谷	小	ハナ	〈ハナギ〉	—	—	○	—	飾(大神宮など松飾をした場所に)／※自家で作るが、売りにくる人もいた	花	
	米沢	小	ハナギ	ニワトコ	—	—	—	—	飾(松飾をとった場所・年神様のお棚)	花	52
	下田島	小	十六ばな	ニワトコ 〈花木〉	1・6〈山入〉※	はなかき	○	—	飾(松の跡くおかざりかえ)→19日晚か21日朝に下げる。〈二十日の風にあてるな〉と言う。 ※屋敷の隅に植えておく家もあった	花	52・53
	上小泉	小	けずり花	〈ハナ木〉	—	—	○	—	苗代の水口の数だけ作る	花	54
	古米	小	ハナ	〈ハナ木〉	—	—	○	—	飾(マユダマと共に、松飾を取った跡に)	花	54
			ハナ(12段※)				○	—	飾(年神様に)／※間年は13段にする	花	
	吉田	小	ハナ	〈ハナ木〉	—	桑切り鎌 (常用)	○	—	供(年神様)	花	54
	仙石	小	ハナ(短)	〈ハナ木〉※	—	—	○	—	飾(松飾を取った跡に) / ※のちに〈ヤナギ〉も用いるように	花	54
			ハナ(16段)		—	—	○	—	飾(大神宮の上に)	花	
邑楽町	(字不明)	小	花木	〈花木〉	—	—	?	—	供(神仏等、正月に注連縄を飾った場所に〈お飾りなoshi〉)／※12節にして1年を表すが、16節の家も	花	55
千代田町	天神原	小	十六バナ	〈ハナゲ〉	—	—	○	—	供(大神宮)→1年間あげておき、12月に正月の餅をふかす際に焚く	花	56
	鍋谷	小	ハナ木	〈ハナ木〉	—	—	○	2本1組	供(16段のハナを削り、大神宮に供える)	花	56
	舞木	小	花	〈花木〉	—	—	○	—	供(16段のハナを削り、大神宮に供える)	花	56
	萱野	小	ハナ木	〈ナラ〉	1・6〈山入〉	—	○	—	供(年神・大神宮・恵比寿・大黒・仏・カマド神・井戸神・馬屋・物置・便所・稲荷・1月11日に鍛入れした田 など、正月飾りを供えたところ全てに供える)	花	56
	上五箇	小	(ハナギ)	ニワトコ 〈ハナ木〉	—	ハナカキの 道具※	○	竹に付ける	供(大神宮・年神・恵比寿大黒・仏壇・屋敷稲荷・便所・井戸などの正月飾りと飾り替える) ※ハナカキの道具は60-70年前までは鍛冶屋で売っていた(報告書は1972年発行)	花	56
	瀬戸井	小	ハナギ	〈ハナ木〉	—	—	○	—	飾(門松・年神等、松飾を取った跡に飾る)	花	56
	赤岩	小	ハナ(短)	〈ハナ木〉	—	—	○	—	飾(マユダマと共に大神宮・竈・屋敷稲荷・井戸・便所・小屋・堆肥場等に飾る。松の代り)	花	56
			ハナ(長)	〈ハナ木〉	—	—	○	—	供(たくさんハナを削って年神棚に供える)	花	
明和町	斗合田	小	花	ニワトコ 〈花木〉	※	ハナカキナタ	○	竹に付ける	供(竹に挿し、神々に供える)／※花木は家の裏から採取したり、館林の初市(1月8日)で買ってきたりする。ハナ自体を初市で買う人も	花	57・58
			花(16節)				○	2本1組	供(大神宮)／※現在ではハナを削らないで供える家も	花	
	江口	小	ハナ	—	(購入)※	(購入)※	○	—	供(大神宮／菊状のハナは団子木に吊るす)／※館林の初市で買ってくる	花	58
	上江黒	小	ハナ	—	(購入)※	(購入)※	○	—	※菊状のハナを売りに来た	花	
	大輪	小	花	ニワトコ 〈花木〉・ 〈ヤナギ〉	—	ハナカキ	○	竹に付ける	供(竹に挿し、神々に供える)	花	57
			十六花				○	2本1組	供(大神宮)／※現在ではハナを削らないニワトコを供える家も	花	
板倉町	(字不明)	小	十六花／ フクボウキ／イ ナボ	—	(購入)※	(購入)※	○	—	供(初午で買ってきて神棚に供える)／※喉に物がつかえた時にこれでなでると取れるといった	—	2
	除川	小	花木	—	—	—	○	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	59

【地域】		【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
	西岡	小	花木・ケズリバナ	〈柳〉・ヌルデ・ウツギ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	59・60
	西岡新田・大曲・離細谷・大荷場	小	花木		—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	59
	海老瀬	小	花木・ケズリバナ	〈柳〉・ヌルデ・ウツギ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)→20日に下ろす。〈二十日正月〉に下げないと〈稲の花が風に吹かれて米がとれない〉と言う	花	59・60
	下五箇・大高島・飯野	小	花木		—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	59
	板倉	小	花木	〈柳〉・ヌルデ・ウツギ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)→19日夕方に下ろす。〈二十日の風に当たると米がとれない〉と言う	花	59
			削り花(総称)	〈柳〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(笹竹と削り花を堆肥場に供える)	花	
	板倉(川入)	小	フクボーキ・イナボ	—	(購入)※	(購入)※	?	—	—	供(神棚の年神様に)→1年中供えておき、喉に棘が刺さった時にこれでなでると取れる／※暮の市・初市で買う	—	60
	岩田	小	花木	〈柳〉・ヌルデ・くうつぎ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)→19日夕方に下ろす。〈二十日の風に当たると米がとれない〉と言う	花	59
			削り花(総称)	〈柳〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(笹竹と削り花を堆肥場に供える)	花	
	榎谷	小	花木	〈柳〉・ヌルデ・くうつぎ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	59
	内倉新田	小			—	—	○	—	—		花	
館林市	大国	小	十六バナ	—	(購入)※	(購入)※	?	—	—	供(年神様)→〈16日の風に合わせないように〉下ろす。喉に何かつかえた時にこれでなでると取れる／※初市で買う ※川入のフクボーキと同形のもの	花	60
	郷谷	小	ハナ木	ウツギ	—	—	○	—	—	供(歳神・稲荷・堆肥の上)	花	61
	大島(岡里)	小	ハナン木	〈ハナン木〉	—	—	○	竹に付ける	—	供(正月様を下げた跡・堆肥の上)／※竹を2ツ割にし、片方に芽のついた〈ハナン木〉、もう一方にけずり花を挿す	花	62
	大島(正義内)	小	(花)	〈ハナ木〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(花を竹に挿し、堆肥場に挿す)	花	62
	上早川田	小	ハナ木	〈ハナ木〉	—	—	?	—	—	飾(堆肥場の上に立てる)	花	63
	日向	小	二段バナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(諸神・稲荷・井戸・便所・物置・堆肥場)	花	4
			三段バナ				○	—	—	供(正月神・大神宮・御嶽山・歳神様に、残りは小黒柱に結ぶ)	花	
			十六段バナ				○	—	—	供(神棚)	花	
	多々良	小	二段花	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(大神宮など正月飾をした所・小黒柱等に供える)	花	64
			十六段花				○	—	—	供(大神宮様)	花	
	花山	小	花	〈ハナ木〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(竹の先に挿し、堆肥場に立てる)	花	65
	青柳	小	ハナ木	ニワトコ	—	—	?	竹に付ける	—	供(竹を2ツ割にし、一方にハナ木、一方に芽のついたハナ木を挿す。それを神々を祀る場所すべて・堆肥場・畜舎等に供える)	花	66

表2-3 削りかけ資料：関東14

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
赤城村	下三林	小	花	ハナ木	——	——	○	竹に付ける	——	飾(堆肥場の上に立てる)	花	67
	上三林	小	花	ハナ木	——	——	○	竹に付ける	——	飾(堆肥場の上に立てる)	花	67
	入ヶ谷	小	花	ハナ木	——	——	○	竹に付ける	——	飾(堆肥場の上に立てる)	花	67
	敷島	小	菊花	ニワトコ	1・6<山入>	——	○	——	——	飾る	花	68
	見立	小	ハナ	ニワトコ	——	——	○	——	——	供(家の入口・薬師堂)	花	4
			二段バナ				○	——	——	供(仏壇・恵比寿・釜神・墓地など)	花	
			十六バナ				○	2本1組	——	供(歳神様)	花	
	(赤城山西麓)	小	ハナ(2段)	ニワトコ	1・6<山入>	先の曲がった小鎌	○	——	——	飾(正月飾りをした場所、神棚・各部屋・土蔵・水車・墓地等も)	花	69
			ハナ(16段)				○	2本1組	——	飾(茶間の座敷の鴨居に2本交叉させて飾る)→20日に下ろす	花	
アーボヒーボ(総称)			——	1・6<山入>	先の曲がった小鎌	○	竹に付ける	——	飾(竹の枝に棒状のヌルデと<カキ花>を挿し、堆肥場に立てる)→20日に下ろす	作物	69	
北橋村	上南室	1・11<鉾立>	削り花	——	——	——	○	——	——	供(松・オサゴ・餅などと共に畑に供える。畑中央に松を立てる)	花	70
		小	十六段菊	——	——	——	—	——	——	——	花	
	小室	小	削り花・カキバナ・一段バナ	ニワトコ・ヌルデ<オッカド>・<コメゴメ>	1・6<山入>※	花カキナタ	○	竹・木に付ける	——	供(竹に挿して仏壇、恵比寿、釜神、井戸神、墓地、オソウデン様、地神に各1本・オシラ様に5本供える)／※ニワトコは屋敷周りや田畑の隅などに植栽しておいたものを用いる／※後には自家で作らず町で購入するように	花	4・70・71
			二段バナ	ニワトコ・<コメゴメ>			○	4本1組	——	供(歳神様)	花	
			削り花／カキバナ(16段)	ニワトコ・ヌルデ<オッカド>			○	2本1組	——	供(2本を結わえて年神に供える)／※16段に削る	花	
	八崎	小	花	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾(竹に挿した棒状のニワトコやヌルデを<粟穂稗穂>といい、これと共に堆肥の上に立てる)※花は昔は手製だが昨今は渋川の初市で購入する	花	70
	舟戸	小	花	ニワトコ	——	——	○	——	——	〃	花	70
	上箱田	小	ハナ	ニワトコ	2,3日前	ハナケズリのなた	○	——	——	飾(<カザリケ>)／※根元の太い部分で作ったハナは門松に挿す	花	70
			ハナ(12段)				○	——	——	供(12段に削って神棚に)	花	
			アーボヒーボ(総称)				ニワトコ	○	竹に付ける	——	飾(竹の枝に棒状のヌルデと<ハナ>を挿し、堆肥場に立てる)	
	箱田	小	花	ニワトコ	——	——	○	——	——	——	花	70
	真壁	小	花	ニワトコ	1・6<山入>	——	○	——	——	供(大神宮)	花	70
			十六のカキバナ	ニワトコ<花の木>	1・6<山入>	——	○	2本1組	——	飾	花	
富士見村	(字不明)	小	花	ニワトコ	1・6<山始>	——	○	——	——	飾(菊の花形に作る)	花	72
	山口	小	カキバナ	ニワトコ	——	ハナカキナタ	○	——	——	飾	花	73
			カキバナ(7段)				○	2本1組	——	飾(2本を水引で結わえ、堆肥場やナゲシに飾る)	花	73
	米野	小	ハナ	ニワトコ	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	2本1組	——	供(神棚)	花	4
宮城村	苗ヶ島	小	ハナ	ニワトコ	※	——	○	——	——	飾(戸外の神仏に1本・年神に2本ずつ供える)／※ニワトコは庭先や畑の隅に植えておく	花	74

表2-3 削りかけ資料：関東15

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	柏倉	小	ハナ ケズリカケ	ニワトコ・ くハギ	—	ハナカキナタ	○	—	—	飾(年神棚・神棚・恵比寿・ミタマ(仏壇)など、松飾をした場所に飾る)	花	74	
			ケズリカケ(段)				ニワトコ	○	2本1組	—	飾(ハナを幾段も削ったもの2本を神棚に)		花
			カキバナ				ニワトコ	○	—	—	飾(くアーボヘーボ)と共に堆肥場に)		花
	市之関	小	ハナ(大)	ニワトコ	1・11	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・台所・便所・稲荷・テンジン・十二様・井戸など)→養蚕のマブシとして利用	花	4・74・ 136	
			ハナ(小)				○	—	—	供(墓地・石仏)→養蚕のマブシとして利用	花		
			十二段の花	ニワトコ	1・11	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚)	花		
			十六バナ				○	—	—	供(神棚)	花		
			アワボヒエボ				○	竹に付ける	—	—	作物		
粕川村	(字不明)	小	花	ニワトコ	—	花搔きなた	○	—	—	飾(マユダマと共に、門松の跡・神棚・稲荷など、松飾をした所に飾るくお飾改え)	花	75	
	膳	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	—	—	75	
	月田	小	二段のハナ	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	—	供(歳神様4本・神棚、仏壇、恵比寿、井戸神、墓地、道祖神、コカゲ様、カワ神各1本)	花	4	
			ハナ				○	竹に付ける	—	供(歳神棚、恵比寿、井戸神、道祖神)	花		
			十二段のハナ				○	—	—	供(釜神様)	花		
大胡町	(字不明)	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(堆肥場に立てる)	花	76	
	滝窪	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(井戸・便所・稲荷・門松を飾った所へ供える)	花	77	
	茂木	小	ハナ	ニワトコ	※	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚2本・仏壇、恵比寿大黒、釜神、井戸神、馬頭観音、庚申各1本)ノ※ニワトコは庭に植えてある(以下同)	花	4	
			十二バナ				○	2本1組	—	供(神棚の前)	花		
			十六バナ				○		—		花		
			(アワボヒエボ)				○	竹に付ける	—	飾(肥場)	作物		
			粥カキ棒	—	—	○	2本1組	頭部十字餅を挟む	粥を混ぜる→水口に	—			
前橋市	泉沢	小	ハナ①	ニワトコ	—	ハナカキ	○	—	—	飾(松飾を下げた跡)	花	78	
			ハナ②				○	—	—	飾(堆肥場)	花		
	飯土井	小	ハナ(2段)	ニワトコ	1・11※	ハナカキ	○	—	—	供(神棚・仏様)ノ※ニワトコはどの家でも庭の隅に植えてある	花	78	
	筑井	小	ハナ(2段)	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(門松の跡等)	花	78	
	下大島	小	ハナ(3段)	ニワトコ	2日前に皮を剥く	ハナカキ	○	—	—	飾(松飾と替える)	花	78	
			ハナ				○	竹に付ける	—	飾(竹を6ヅ割にしてハナを挿し、堆肥場に立てる)	花		
			十二ノ十六				○	—	—	—	—		
	小屋原	小	ハナ(3段)	ニワトコ	—	ハナカキ	○	—	—	—	花	78	
	総社山王	小	カキ花	ニワトコ	1・6く六日山	—	○	—	—	—	花	79	
	下長磯	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(くおかざりかえ)→16日に下げる	花	80	
西善	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(マユダマと共に天上から吊るす)	花	80		
房丸	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	—	花	80		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
	鶴光路	小	ハナ(3段)	ニワトコ	——	——	○	——	飾(門松2本・正月様・歳徳神様・神棚・仏壇・お釜様・屋敷稲荷・墓・水神様・井戸・蔵・小屋・便所・物置・道祖神各1本)	花	80
	朝倉	小	ハナ	ニワトコ	——	——	○	——	——	花	80
上青梨子	小	ハナ(2段)	ニワトコ	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	——	——	供(神棚・仏壇・おしら様・稲荷・恵比寿・石像物・神社・堂・釜神(2本)・井戸・墓地・山神・便所・そうぜん様・臼・倉・納屋など、正月飾をあげた所／養蚕のマブシの意味でマユダマに吊るす)	花	4・79・136
		ハナ(16段)				○	——	——	供(表皮を剥かずに削ったものは堆肥場に、剥いて削ったものは室内・坪山神様に供える)→室内のものは年末のくすすはき)の頃まで置く	花	
		ハラミ棒	ニワトコ			○	2本1組	頭部十字	15日の粥を混ぜて年占をする→飾(床の間)→苗代の水口にヤナギの箸と共に立てる)	花	
清野	小	花	エゴノキ・ミズキ	——	——	○	——	——	飾り替える	花	79
清里	小	花飾り	ニワトコ・ムラサキシキブ・キブシ<コメゴメ>・ウツギ	1・6<六日山>	——	○	竹に付ける	——	飾(竹に挿して飾る。屋内は小正月様・松飾をした所に、屋外は松グシに添えて飾る。堆肥場・溜小屋には皮を剥かずに削った<荒がき>を飾る)	花	81
		花飾り(16段)	ニワトコ			○	——	——	飾(座敷鴨居)	花	
小相木	小	ハナ	ニワトコ・クワ	——	——	—	——	——	供(神棚)／※魔除けだという	—	79
荻窪	小	はな(小)	ニワトコ	1・4 1・6 <山入>	ハナカキ	○	——	——	飾(屋内に飾る／神棚・年神棚・仏壇・恵比寿・釜神・オシラ様)	花	4・82・136
		はな(大)				○	——	——	飾(屋外に飾る／井戸神・墓地・馬頭観世音・屋敷稲荷・オシラ様・便所・馬小屋・門口・納屋・蔵)	花	
		(ハナ)	<ハギ>			○	団子木に付ける 3個1組	——	飾(マユダマに挿す)→蚕のマブシに	花	
		はな(12段)	ニワトコ			○	——	——	供(歳神様(正月棚))	花	
芳賀	小	花	ニワトコ	1・6<山初>	——	○	——	——	飾る／菊の花形にする	花	83
小神明	小	ケズリバナ	ニワトコ	——	——	○	団子木に付ける	——	飾(八畳間に飾ったマユダマに吊るす)	花	82
江木	小	ハナ(3段)	ニワトコ・ミズナラ	——	専用のナタ	○	——	——	供(神様・墓)	花	82
片貝	小	ハナ	ニワトコ	——	ハナカキ ナタ※	○	——	——	飾(門口・稲荷・井戸・便所の他、家によっては畜小屋・池等にも)／※ナタは購入した	花	82
三俣	小	ハナ	ニワトコ	※	専用のナタ※	○	団子木に付ける	——	飾(マユダマに吊るす)／※ニワトコの木は山から売りに来た。ナタも売りに来た。	花	82
総社栗島	小	十六段のハナ	——	1・6<六日山>	——	○	2本1組	——	——	花	79
大渡	小	カザリバナ	ミズキ	——	——	○	——	——	飾(玄関・屋敷稲荷)／※2～3段のもの	花	79
(旧総社町)	小	かき花	——	——	——	○	団子木に付ける	——	飾(座敷に飾ったマユダマに吊るす)→15日夜か16日朝に下ろす<繭かき>	花	84
元総社	小	かき花	ニワトコ	——	——	○	——	——	供(松飾をした所に供える／堆肥場に立てる)	花	79
江田	小	はな	——	——	——	○	——	——	——	花	79
赤堀町	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ	——	カキ鉋	○	——	——	花	85

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	今井	小	ハナ	ニワトコ	—	専用の道具	○	—	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・釜神・井戸神・墓地・道祖神・神社・お堂・蚕神など)	花	4	
		十六段の花 (蚕神)	○				—	—	供→16日に片付けてドンドン焼きで燃やす	花			
		十二段の花 (十二天神)	○				—	—	供(神棚)	花			
境町	上淵名	小	ハナ木	—	—	—	○	—	—	供(神棚)	—	86	
	下淵名	小	十二	ニワトコ く花木	—	—	○	—	—	供(神棚の大神宮に)	—	86	
			十六				○	—	—		—		
	伊与久	小	削り花(短)	ニワトコ・ くヤナギ	—	ハナカキ	○	—	—	飾(勝手・便所・井戸・墓・氏神等、松飾を取った所にくお飾り替え)	花	86・ 87	
			削り花(長)				○	2本1組	—	飾(家により神棚や年神棚に)→神棚の場合は年末の大掃除のときに下げる	花		
	上矢島	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾→17日に下ろす	花	86	
	上武士	小	花かき	—	—	—	○	—	—	飾(神棚・便所・勝手・床間・門・墓地)	花	86	
	栄	小	削り花	ニワトコ・ くヤナギ	—	ハナカキ	○	—	—	飾(注連や門松を取った所にくお飾り替え)	花	87	
			削り花(16段)				○	—	—	飾	花		
	小此木	小	ハナ	ニワトコ	—	—	—	○	—	—	飾(神棚・松飾のあと)	花	86
伊勢崎市	三和町	小	ハナ(2段)	ニワトコ	3日程前	花かきナタ	○	—	—	飾(松を立てた穴に立てる)	花	88	
			ハナ(16段)				○	—	—	飾	花		
			ハナ(堆肥場)				○	竹に付ける	—	飾(竹に挿して堆肥場に立てる)	花		
	波志江	小	ケズリバナ	ニワトコ	2,3日前	ハナカキガマ	○	—	—	供(蚕神様)→20日に下げる	花	89	
			ケズリバナ (堆肥場)	ニワトコ			○	竹に付ける	—	飾(竹に挿して堆肥場に立てる)→20日に下げる	花		
			ジュウニガツキ (十二月木)	ニワトコ			—	—	○	—	—		飾(年神棚)
	上之宮	小	ハナ・削り花①	ニワトコ	—	ハナカキナタ	○	—	—	飾(門松等、注連飾りをした所にくお飾り替え)	花	90	
			ハナ②	ニワトコ			○	2本1組	—	飾(12段と16段に削ったものを水引で結わえ年神棚に)	花		
	馬見塚	小	花飾り	ニワトコ	1・14※	—	—	?	—	—	飾(注連飾りと取り替えるくお飾り替え) ※ニワトコは餅搗きの合間に採る。来年もよい物が出るように全部切る。	花	91
	八斗島	小	ハナ	ニワトコ	—	—	—	○	—	—	飾(正月棚・門松の跡・氏神様・井戸神様・墓・堆肥場等)	花	92
玉村町	飯塚	小	かきばな・ ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(正月棚く飾りかえ)／※ニワトコが殆どだがくヤナギ・ウツギを使う家も(以下同)	花	93	
	樋越	小	ハナ(1段)	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(神棚・正月棚く飾りかえ)	花	93	
	南玉	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(神棚く飾りかえ)	花	93	
	上福島	小	ハナ(1段)	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(神棚・正月棚く飾りかえ)	花	93	
	福島	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(注連飾りと同じ場所く飾りかえ)	花	93	
	板井	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(注連飾りと同じ場所く飾りかえ)	花	93	
	上新田	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	2本1組	—	飾(長い木で2本作って鴨居にかける)	花	93	
	箱石	小	ハナ	ニワトコ	小刀	○	○	—	—	供(下大黒・井戸神・恵比寿・床・お勝手・便所・物置など)	花	4	
十二段のハナ			ニワトコ	—	○	○	2本1組	—	供(床の間)／※12の芽がある木を用いる、1ヶ所削る	花			

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	宇賀	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(注連飾りと同じ場所く飾りかえ)	花	93
	角淵	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(注連飾りと同じ場所く飾りかえ)／※ハナは7、5、3に搔く	花	93
			ハナ(16段)				○	2本1組	—	飾(2本を水引で結わえ神棚に)→秋のくススハキに下ろす	花	
			—				○	2本1組	—	水引をつけておき、田植初めに水口に挿す	—	
	川井	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(神棚く飾りかえ)	花	93
五料	小	ハナ	ニワトコ※	—	—	○	—	—	飾(神棚く飾りかえ)	花	93	
渋川市	祖母島	小	カキバナ	—	1・2く若木迎	—	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす／仏様・墓に飾る)	花	94
			十六のカキバナ	○			—	—	飾(マユダマの正面に結わえる)	花		
			アーボウ ヒーボウ(総称)	ニワトコ			1・2く若木迎	—	○	竹に付ける	—	
	川島	小	カキバナ	—	く若木迎	—	○	—	—	飾(松飾をした所すべてにく飾り替え)	花	94
	渋川 (入沢)	小	カキバナ	—	く若木迎	—	○	—	—	飾(神棚・仏様・庚申様・水神様・庭・便所・堆肥場・家畜小屋など)	花	94
	石原	小	カキバナ	—	く若木迎	—	○	—	—	供(神棚・仏壇)	花	94
	中村	小	カキバナ	—	く若木迎	—	○	—	—	供(神棚・仏壇)	花	94
	八木原	小	ケズリバナ	—	く若木迎	—	○	—	—	飾(マユダマの前に置く)	花	94
子持村	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(神棚・門松など)／※ハナは注連と同じもの	花	95
			ジュウロク (十六花)	ニワトコ	—	—	○	2本1組	—	飾(マユダマと共に飾る)	花	
			クルマバナ	くミズブサ =ハナノキ	※	※	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿して飾る)／※ハナは小野上村から売りに来るようになった	花	
	上白井	小	クルマバナ	—	—	—	○	—	—	供(歳徳神)	花	4・95
			ハナ	ニワトコ			○	—	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・釜神・馬屋の神・床の間・便所・玄関など)	花	
			カザリバナ	ニワトコ			○	竹に付ける	—	供(座敷のマユダマ)→蚕を飼う時に焚く	花	
			十六バナ	ニワトコ			○	—	—	供(神棚)→蚕を飼う時に焚く	花	
	横堀	小	ハナ	ニワトコ	1・2、1・6 く初山入	—	○	竹に付ける	—	飾(割竹に挿して神棚に)	花	95
			ダンバナ	ニワトコ			○	—	—	飾	花	
			十六花	ニワトコ			○	2本1組	—	飾(8段に削り、2本を鴨居に飾る)	花	
	北牧	小	ハナ	ニワトコ くハナ木	1・2く初山入	—	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす)	花	95
	吹屋	小	ハナ	—	※	※	○	—	—	飾／※小野上村から売りに来た	花	95
小野上村	(字不明)	小	ハナ(2段)	ニワトコ	—	花搔きなた	○	—	—	飾(神仏その他、松飾をした所にくおかざり替え)	花	96
			ハナ (12か16段)	ニワトコ			○	2本1組	—	供(2本を水引で結わえ、年神様に)	花	
			アーボヒーボ (総称)	—			—	花搔きなた	○	竹に付ける	—	
		小	門ホダレ	—	—	—	○	—	—	飾(門松を取った跡の杭の間に張られた縄の中央に吊るす)／※長く削ったもの	—	

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
			ホダレ	ミズキ 〈ミズブサ〉・ キブシ 〈コメゴメ〉・ ヌルデ	1・2〈山入〉	ハナカキナタ	○	――	――	供(神棚)／※長く削ったもの	――	97
			クルマバナ				○	――	――	供(年神)／※菊花状に削ったもの	花	
			ハナ(小)				○	――	――	供(恵比寿大黒・仏壇・釜神)	花	
			ハナ(8段)				○	2本1組	――	供(蚕神〈オシラサマ〉)に2本結わえて供える	花	
			ナゲバナ				○	――	――	供(戸外の神々・石仏・墓地)／※2段の小さなハナ	花	
			地神／作神	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・2〈山入〉	ハナカキナタ	○	俵に挿す	――	供(台所の土間に雑木を俵に束ねたものを2俵重ね、その上に2段にハナを削った〈地神〉を立てる)→16日夕方に下ろす	――	
	村上	小	クルマバナ・ オタナバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・6〈山入〉※	ハナカキナタ	○	2本1組 竹に付ける	――	供(歳神棚・オミタマサマ)／※現在は2日に山入りする。販売するハナの材料は11月の大安の日に採る(以下同)	花	4
			カメノコ・ ハッショウ神	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・6〈山入〉※	ハナカキナタ	○	8本1組	――	供(8本並べて板に釘でとめ歳神棚の下に)	――	
			カドホダレ	キブシ 〈コメゴメ〉	1・6〈山入〉※	ハナカキナタ	○	2本1組	――	飾(門松をとった注連縄に吊るす)	――	
			ナゲバナ				○	――	――	供(道祖神・社・お堂・墓地など)※／販売もした	花	
			十六バナ				○	2本1組	――	供(蚕神)	花	
			地神様の花・ タアラ(俵)神様	ミズキ 〈ミズブサ〉	1・6〈山入〉※	ハナカキナタ	○	――	――	飾(ヌルデの俵2束を台所の柱の下に積み上げ、この上に立てる)	花	
	村上 (共栄)	小	オタナバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	――	――	○	2本1組 竹に付ける	――	供(歳神様)	花	4
			カドホダレ				○	2本1組	――	供(門松を外した跡に吊るす)	――	
			ナゲバナ	キブシ 〈コメゴメ〉	――	――	○	――	――	供(屋外の神仏)	花	
			ジュウロク				○	2本1組	――	供(オシラ様)／蟻除けにする	――	
榛東村	(字不明)	小	かき花	――	――	ハナカキナタ	○	団子木に 付ける	――	飾(マユダマに吊るす)	花	98
			段バナ	――			○	――	――	飾(正月棚・神棚・仏壇・床間など内飾りに〈飾りかえ〉)	花	
			ナゲバナ	――			○	――	――	飾(蔵・物置・庭・墓・道祖神など外飾りに〈飾りかえ〉)	花	
			ヒエボー アワボー(総称)	ニワトコ	――	ハナカキナタ	○	竹に付ける	――	飾(棒状のニワトコとハナを竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	
	中組	小	ハナ	〈コメゴメ〉・ 〈白ハギ〉	――	ハナガキナタ	○	――	――	供(神棚・堆肥の上・馬小屋等あらゆる神に供える)	花	99
			アーボーヒー ボー(総称)	〈ノードン ボー〉・ニワト コ			○	竹に付ける	――	飾(割竹に挿して堆肥場に立てる)	作物	
吉岡町	(字不明)	小	はな	ニワトコ・ 〈こめごめ〉	――	――	○	――	――	飾(大正月の内飾りをとって飾った〈飾りかえ〉)	花	100
			ケエカキ棒	ニワトコ	――	――	○	2本1組 団子を挟む	――	2本を水引で結わえ、マユダマを挟んで15日の小豆粥を混ぜる→苗代の水口に立てた	――	
高崎市	上小塙	小	ハナ①	ニワトコ	――	――	○	――	――	飾(神棚・堆肥場・門口〈飾り替え〉)／※5段か7段に削る	花	101
			ハナ②	ニワトコ	――	カマ	○	2本1組	――	供(〈オイワイギ〉として床の間の上部に飾る)	花	4
	大沢	小	ケズリバナ	ニワトコ	――	――	○	――	――	飾(〈飾りかえ〉)	花	102
			元島名	小	ハナ	ニワトコ	――	――	○	――	――	飾(〈飾りかえ〉)

表2-3 削りかけ資料：関東20

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	(旧大類村)	小	削り花	〈柳〉	——	——	○	団子木に付ける	——	飾(神棚に飾ったマユダマに吊るす<飾り替え>)	花	103
	(旧京ヶ島村)	小	(花)	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾／※菊の花形に削る	花	104
	西横手	小	はなかき	ニワトコ	(購入)※	(購入)※	○	団子木に付ける	——	飾(お棚に飾ったマユダマに吊るす)	花	102
	八幡原	小	ジュウロク	ニワトコ	——	——	○	2本1組	——	飾(2本を水引で結わえ、表座敷の鴨居に飾る)	—	102
群馬町	(旧金古町)	小	かき花	〈萩〉	——	——	○	団子木に付ける	——	飾(マユダマに吊るす)	花	105
			(飾り)	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾／※長い幹のものをを用いる	—	
	(国府村)	小	カキバナ	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾	花	106
			十六段ギク	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾	花	
	棟高(観音寺)	小	削り花	——	——	——	○	——	——	供	花	107
	榛名町	(旧室田町)	小	あわつぽ ひえつぽ(総称)	ニワトコ	1・6<山始め>	——	○	——	——	飾(竹にヌルデを挿して堆肥場に立てるが、ニワトコを菊の花状に削ったものを飾ることもある)	作物
(旧里見村)		小	かき花・ 削り花	ヌルデ・ ハギ※	1・6<山始め>	——	○	——	——	飾(大正月の飾りをした所<飾り替>)→屋内のものは16日に下ろす／※ハギは一年生のもの	花	109
下里見		小	ハナ①	キブシ 〈コメゴメ〉	1・6(山入)	ハナカキナタ	○	——	——	供(屋内の神仏)	花	4・ 136
			ハナ②	〈ハギ〉			○	——	——	供(屋外の神仏・墓地・辻)	花	
			ハナ③	〈ハギ〉			○	2本1組	——	供／2本合わせて16段ほど削る	花	
箕郷町	(字不明)	小	かき花	——	——	——	○	団子木に付ける	——	飾(マユダマに吊るす)	花	110
倉渕村	(字不明)	小	削花・ かきばな	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>・ハギ	※	※	○	団子木に付ける	——	飾(マユダマに吊るす)／※製作時に余ったヌルデは<タワラ木>として<カマ神>に供えておき、田植時に赤飯をふかす焚物にした／※削花は後に縁起物として売りに来るようになった	花	111・ 112
	陣田	小	ハナ・ホダレ	ヌルデ<ヌリデ ンボウ>	——	ホダレナタ	○	——	——	——	花	113
	亀沢	小	ハナ	ヌルデ	——	ハナカキナタ ホダレカキ※	○	——	——	飾(マユダマの所へ並べる)※ホダレを売りにくることもあった／※ない家はナタで作った	花	112
	川浦	小	アワバナ	ハギ	——	——	○	——	——	※ハギは黄色の木肌が美しい	—	112
			ヒエバナ	ハギ	——	——	○	——	——		——	
	岩氷	小	ホダレ	〈ハシの木〉	(購入)※	(購入)※	○	——	——	※ホダレ売りが来ることもあった	—	112
	七ツ石	小	花	ハギ	——	カマ	○	——	——	※ハギを茹でて外皮を取ってから削る	花	113
新町	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾(松飾をとった所<飾り替え>)／※3段にハナをカク	花	114
安中市	(字不明)	小	花	ヌルデ	——	——	○	——	——	飾	花	115
			ハナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	〈山入〉	——	○	——	——	※節と節の間が長いので削りやすい	花	116
	東上秋間(長岩)	小	ハナ	〈ハギ〉	小刀 (購入)※	(購入)※	○	——	——	※作る家もあるが、昔から倉渕村や榛名町(里見)から<ハナ売り>が売りに来たのを買った。ハギの皮を剥き茹でて小刀で削ったものだった	花	116・ 117

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	中秋間	小	ハナ	ヤマハギ	—	—	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす)	花	117	
	下秋間	小	ハナ	ニワトコ・ ハギ	カマ (購入)※	(購入)※	○	団子木に付ける	—	飾(マユダマに吊るす)／※実際に作る人は少なく、北の方からハナ売りが売りに来た	花	116・ 117	
	磯部	小	ハナ	—※	(購入)※	(購入)※	○	—	—	供(神棚)／※甘楽町秋畑から売りに来た／※黄色味を帯びたハナだった	花	116	
	鷺宮 (五賀)	小	ケズリバナ(大)	ヤマハギ ハギ※	1・6<初山入>	ハナカキナタ	○	2本1組	—	供(松飾のように神様・仏様に供えた、5段に削る)／※昔は馬の飼料として意図的に山に残してあった為長い木が採れたが現在は植えなければ入手できない	花	116	
			ケズリバナ(小)				○	—	—	供(井戸神・便所神・蔵神・道祖神・墓などに供えるハナクバリ)	花		
			十六バナ	ニワトコ・ミズ キミズブサ・ コメゴメ	1・6<初山入>	ハナカキナタ	○	2本1組	—	飾(8段削ったものを2本合わせてマユダマの木の元に置いた)	花		
			カズガラ ハナ	コウゾ※ カズガラ	(購入)※	(購入)※	○	—	—	甘楽町秋畑から売りに来た／※コウゾは畑の周囲にあり、紙の原料として売っていた	花	116	
	鷺宮(小 金久保)	小	ハナ	ハギ	1・6(六日山)	—	○	—	—	供(仏壇・恵比寿・釜神・馬屋神・床・便所神・玄関・門屋敷稲荷・土蔵・堆肥舎・井戸神・オシラ 様・道祖神・墓地など)	花	4・ 136	
			ハナ(略式)				○	—	—	供(神棚・蔵神棚・大黒柱)	花		
			十二段の花				—	○	—	—	供(神棚)		花
	富岡市	小野	小	ハナ	山桑・ ヌルデ・ヌリデ ンボウ・ ニワトコ	1・5<山入>	ハナカキの鉋	○	—	—	飾(松飾を下げた跡)→28日の<シマイ正月>に下げる ※稲、麦の穂に似せて作る	花	118
		黒岩	小	ハナ(1段)	コウゾ	(購入)※	(購入)※	○	—	—	供(墓)／※甘楽町秋畑の人が売りに来る	花	118
				ハナ(8段)				○	—	—	※甘楽町秋畑の人が売りに来る	花	
ハナ(12段)				○				—	—		花		
東富岡		小	ハナ	—	1・5<山入>	—	○	—	—	飾(松飾と替える)	花	118	
富岡		小	ハナ	カズの木	(購入)※	(購入)※	○	—	—	供(神棚・産土様・墓)／※甘楽町秋畑の人が売りに来るのを買う人がほとんど	花	118	
一ノ宮		小	ハナ(大)	カズガラ・ 萩	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	—	—	飾(門・玄関の上・マユダマをさした所)／※門口のものは魔除	花	118	
			ハナ(小)				○	—	—	飾(門松の杭・庭中央に立てた松・井戸・屋敷神など家敷地内の神々・墓地	花		
			十二段花				○	—	—	供(正月様・神棚)	花		
			十六段花				○	—	—	供(大神宮様・マユダマの木の所)	花		
高瀬		小	ハナ(大)	カズガラ・ 萩	1・6<山入>	ハナカキナタ	○	—	—	飾(門・玄関の上・マユダマをさした所)	花	118	
			ハナ(小)				○	—	—	飾(門松の杭・庭中央に立てた松・井戸・屋敷神など家敷地内の神々・墓地	花		
			十二段花				○	—	—	供(正月様・神棚)	花		
			十六段花				○	—	—	供(大神宮様・マユダマの木の所)	花		
宇田 (中寺田)		小	カキダレ	—	1・6<山入>	—	○	—	—	飾(門口に吊るす)／※魔除けという	—	118	
	小	コバナ	○				団子木に 付ける	—	飾(大黒柱に飾ったマユダマに吊るす)	花			
丹生	小	ハナ(1段)	カズガラ・ カゼツペー	1・5<山入>	ハナカキナタ	○	—	—	飾(各神・松飾をした所・門松を立てた杭の上全て・墓)	花	118		
		ハナ(12段)				○	2本1組	—	飾(2本をマユダマの上に飾る)	花			

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	額部	小	ケエダレ(12)	コウゾ 〈カズ〉	(購入)※	(購入)※	○	2本1組	—	供(年神・荒神様)／※両側6段ずつ削ったもの2本。甘楽町秋畑からくハナウリが売りに来た(以下同)	—	118・ 119
		ケエダレ(16)	○				2本1組	—	供(オシラ様)／※両側8段ずつ削ったもの2本	—		
		コバナ	○				—	—	飾(便所・墓など、屋外の松飾をとった所)	花		
	吉田	小	ハナ(大)	〈カズガラ〉・ 〈萩〉	1・6〈山入〉	ハナカキナタ	○	—	—	飾(門・玄関の上・マユダマをさした所)	花	118
		ハナ(小)	○				—	—	飾(門松の杭・庭中央に立てた松・井戸・屋敷神など家敷地内の神々・墓地)	花		
		十二段花	○				—	—	供(正月様・神棚)	花		
		十六段花	○				—	—	供(大神宮様・マユダマの木の所)	花		
	野上	小	花	〈カズガラ〉	1・6〈山入〉	—	○	—	—	飾(門松の杭の跡に供える)	花	118・ 119
松井田 町	(字不明)	小	けずりばな・ ハナ	コウゾ※ 〈コウゾ〉・ 〈ハシギ〉	—	—	○	—	—	飾(正月飾りの代りに)／※昔はコウゾだったが作らなくなったので山の〈ハシギ〉を利用、ハシギは箸にする木だが学名不明	花	2・ 120
	新堀	小	オオバナ	ムラサギシンキ ブ・コウゾ〈カ ズ〉	1・6(山入)	ハナカキナタ	○	—	—	供(神棚)	花	4・ 136
		コバナ	ニワトコ	○			—	—	供(仏壇・恵比寿・釜神・馬屋・床・便所・玄関・門口・屋敷神・肥場・作業所・井戸・墓地・道祖神・庚申・お堂など)	花		
		十二段バナ	ムラサギシンキ ブ・ ニワトコ	○			2本1組	—	供(歳神棚)	花		
	下平	小	ハナ(2段)	〈ハシノ木〉	—	ハナカキナタ	○	—	—	※2段に削る	花	121
		ハナ(2段)	〈コウズカラ・ カズガラ〉	○			—	—	※16段に削る	花		
	上人見	小	削り花	ヌルデ	1・11	—	○	—	—	—	花	122
妙義町	下高田	小	ハナ(短)	〈カズの木※〉 ・〈コメゴメ〉	(購入)※	(購入)※	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマに吊るす)／※下高田には〈カズ屋〉があり、カズがたくさん出るのでこれを利用した。後には甘楽町秋畑から売りに来た(以下同)	花	123
		ハナ(長)	○				—	—	飾(マユダマの木の元に置く)	花		
	上高田	小	ケズリバナ	—	—	—	○	—	—	※自家用に作る他、富岡に売りに行く人もあった	花	123
	諸戸 (日影)	小	ハナ	〈カズの木〉	—	—	○	—	—	—	花	123
下仁田 町	上小坂	小	ケーダレ1(大)	ミツバウツギ	1・2(山入)	ケエダレカキ ナタ	○	—	—	供(神棚3・トボグチ2本)	—	4・ 136
		ケーダレ2(小)	○				—	—	供(仏壇2本・オミタマサマ、恵比寿、物置各1本)	—		
		ケーダレ3	ヌルデ 〈ヌルデ〉				○	—	—	供(墓地・神社・お堂)	—	
		十六ケーダレ					○	2本1組	—	飾(座敷のマユダマの所)	—	
	青倉	小	ハナ(大)	コウゾ〈カズガ ラボウ〉	—	—	○	—	—	供(神棚・歳神棚・仏壇・恵比寿・玄関)→初午の饅頭を作る時に焚く	花	4・ 136
		ハナ(小)	○				—	—	供(便所・屋敷神・墓地)→初午の饅頭を作る時に焚く	花		
	南野牧	小	カケバナ	ミズキ 〈ミズブサ〉	—	—	○	—	—	供(諸神)	花	4

表2-3 削りかけ資料：関東23

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
甘楽町	造石	小	オオバナ	ニワトコ※	—	—	○	2本1組	—	飾(玄関・門口に1組ずつ)／※かつてはコウゾを利用(以下同)	花	4
		チュウバナ	—		—	○	—	—	供(神棚・仏壇・恵比寿・釜神・床・機神)	花		
		コバナ	—		—	○	—	—	供(便所神・屋敷神・土蔵・作業所・井戸神・墓地・石造物・お堂など)	花		
		十二段バナ	ニワトコ・ネジキ 〈カショウシン〉	—	—	○	2本1組	—	供(歳神・十二様(山の神)など)	花		
		十六段バナ	ニワトコ	—	—	○	2本1組	—	供(神棚のオシラ様・畑と田の苗間)	花		
	秋畑	小	小ハナ	コウゾ 〈カズ〉※	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	—	—	供(注連縄のシデとして垂らす・屋内外の神・墓地にく松とハナとのオヒキカエ)／※上から下に向かって削ったもの／※コウゾがない場合はミツマタ・ヌルデ・ハギを利用する(以下同)／※富岡市一ノ宮の〈ボヤ市〉などで売る人もいた(以下同)	花	124
		大ハナ	ヌルデ・コウゾ 〈カズ〉※	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	—	—	供(歳神・養蚕神・松を立てた飾り杭に各2本ずつ・屋敷稲荷・蔵・井戸・便所等く松とハナとのオヒキカエ)／※オオトボーの飾り杭にはヌルデかコウゾのハナ、ナカトボー・デエトボーの飾り杭にはヌルデのハナを供える／※下から上に向かって削ったもの	花		
		12段ハナ	コウゾ 〈カズ〉※	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	2本1組	—	供(2本を歳神様のく大ハナに飾る)／※上から下に向かって6段削ったもの	花		
		16段ハナ①	コウゾ 〈カズ〉※	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	2本1組	—	供(2本をオシラ様のく大ハナに飾る)／※上から下に向かって8段削ったもの	花		
		16段ハナ②	コウゾ 〈カズ〉※	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	竹に付ける	—	先を16に割った竹のそれぞれの先端にく小バナを挿す。16段バナの古い形とされる	花		
		ケーカキ坊	ヌルデ	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	団子を挟む	頭部十字	15日の小豆粥を混ぜる→供(歳神様のく大ハナ)／上段部の四方にハナをカク	—		
	秋畑 (那須)	小	オオバナ・カドバナ(大)	ハナカキナタ	1・1〈山入〉	ハナカキナタ	○	2本1組	—	飾(玄関・トボグチの門松の跡)	花	4・136
		チュウバナ	○				—	—	供(神棚・仏壇・恵比寿・釜神・床・歳神)	花		
		コバナ	○				—	—	供(便所神・屋敷神・土蔵・作業所・井戸神・墓地・石造物・お堂)	花		
		長いハナ	○				—	—	飾(畑・馬屋・堆肥舎)	花		
		ハナ(12段)	○				2本1組	—	供(神棚)	花		
		ハナ(16段)	○				—	—	供(オシラ様)	花		
		粥カキ棒	○				2本1組	頭部十字	15日の粥を混ぜる→供(神棚)	—		
		秋畑 (荻ノ久保)	小				ハナ	ハナカキナタ	—	○	—	
	コバナ		ニワトコ	—	○	2本1組	—		供(諸神)	花		
	十六バナ		コウゾ 〈カズガラ〉	—	○	2本1組	—		供(オシラ様)	花		
	南牧村	(字不明)	小	小ハナ (ケエダレ)	ヌルデ・コウゾ 〈カズガラ〉	1・2〈山始〉	ハナカキ鉈	○	—	—	飾(注連縄のシデとして垂らす・屋内外の神・墓地に供える)	花
大ハナ (ケエダレ)			○	—				—	供(歳神様・養蚕神・門松を立てた杭に1本ずつ・屋敷稲荷・蔵・井戸・便所等く松とハナとのオヒキカエ)	花		
十二段バナ			○	2本1組				—	供(歳神様のく大ハナ)に2本ずつ供える)／※6段ずつ削ったもの2本	花		
十六段バナ①			○	2本1組				—	供(オシラ様のく大ハナ)に2本ずつ供える)／※8段ずつ削ったもの2本	花		
十六段バナ②			○	竹に付ける				—	先を16に割った竹のそれぞれの先端にく小ハナを挿す。十六段バナの古い形とされる	花		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
藤岡市			ケエカキ棒	ヌルデ	1・2<山始>	ハナカキ鉈	○	団子を挟む	頭部十字	マユダマを挟んだケエカキ棒で15日の小豆粥を混ぜる→歳神様の<大ハナ>に供える ※上段部の四方にハナをカク	—
			ハナ	<ヌルデンボ>	1・2<山入>	切り出し	○	—	—	供(神棚・仏壇・庭・墓など<ハナ進ゼ>)／※1段と3段のものがある	花 121
	中大塚	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(年棚の松を下ろして飾る)	花 126
	根岸	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神様)	花 127
	本郷	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(松飾の代りに神棚に)	花 127
	美九里	小	ハナ	ニワトコなど	1・6(山入)	—	○	—	—	飾(門口、神棚、井戸、便所、堆肥場など松飾りの跡)→初午に焼く	花
		小	アーボヒーボ	ヌルデ<ヌリデンボウ>・ニワトコなど		—	○	竹に付ける	—	飾(堆肥場)／※ハナをアーボヒーボと呼んでマユダマに飾る家もある	作物 128
	矢場	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(松飾の代りに神棚・井戸・便所・堆肥場に)／※3段に削る	花 127
	牛田	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(門・井戸・便所・屋敷神・神棚に)／※正月の松と同じ意味	花 127
	保美	小	削りバナ	—	—	—	○	—	—	供(松飾の跡全てに供える)	花
			削りカケ	—	—	—	○	—	—	—	—
			十六段菊	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神棚・床の間)	花
			十二段菊	ニワトコ	—	—	○	2本1組	—	—	花
	三本木	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾→初午のマユダマを茹でる時に燃す／※3段に削る	花 127
	金井	小	ハナ①(灰神様)	キブシ<マメブチ>・ニワトコ	1・2(山入)	ハナカキナタ ハナカキガマ	○	—	—	供(家の裏口)	花
			ハナ②				○	—	—	供(小正月棚、神棚、仏壇、恵比寿、釜神、便所)	花
			ハナ③				○	2本1組	—	飾(門松の跡)	花
			ハナ(略式)				○	—	—	供(神棚、歳神棚、馬頭観音、庚申、薬師、道祖神)	花
			棚の上の花	キブシ<マメブチ>・ハナ木>	1・2(山入)	ハナカキナタ ハナカキガマ	○	3本1組	—	供(歳神様の松飾の跡)	花
			棚の下の花				○	3本1組	—	飾(「棚の上の花」の下に)	花
			肥庭飾り	ヌルデ<ヌリデンボ>	1・2(山入)	ハナカキナタ ハナカキガマ	○	竹に付ける	—	飾(農道具などと一緒に竹に下げ、堆肥場に)	—
			オキンマラ	ニワトコ			○	大小1組	—	供(正月棚)→玩具に	刀
	穴岡	小	削りバナ	—	—	—	○	—	—	供(松飾の跡全てに供える)	花
			削りカケ	—	—	—	○	—	—	—	—
			十六段菊	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神棚・床の間)	花
			十二段菊	ニワトコ	—	—	○	2本1組	—	—	花
	高山	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(井戸・門)	花 127
	塩平	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	—	花 129
	黒石	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(松飾を飾った所すべて)	花 129
	駒留	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	飾(松飾を取った跡)	花 129
	芝平	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	—	花 129
	上日野	小	削り花	—	—	—	○	—	—	飾(家の中)	花

表2-3 削りかけ資料：関東25

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
			切りカケ	スルデ<スリデ ンボウ>	――	――	×	――	――	飾(家の外)	――	2	
			十六ゼンニチ				○	2本1組	――	供(床の間)／※8段削ったもの2本	――		
			粟穂稗穂 (総称)				○	竹に付ける	――	飾(竹に棒状のスルデと削り花を挿し、堆肥場に立てる)	作物		
	岡本	小	ハナ	――	――	――	○	――	――	飾(松飾を飾った所すべて)	花	129	
	高井戸	小	ハナ	――	――	――	○	――	――	飾(松飾を飾った所すべて)	花	129	
	板野	小	ハナ	――	――	――	○	――	――	飾(松飾を飾った所すべて)	花	129	
	田本	小	ハナ	スルデ	――	――	――	○	――	――	供(箕に入れて床間のマユダマに供える)	花	126
馬渡戸	小	アワボヒエボ (総称)	スルデ	――	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割竹に棒状のスルデと<ハナ>を挿し、堆肥場に立てる)→19日に下ろす。春蚕の熟蚕<ズウ>のマブシにし、翌年の年神様に供える	作物	126	
鬼石町	浄法寺	小	ハナ	ニワトコ	――	――	○	――	――	供(正月飾を下げた棚に飾る、屋内外の神仏に供える)	花	4・ 130	
	鬼石	小	ハナ(12段)	ニワトコ	――	――	○	――	――	※花びら16枚を12段削る	花	130	
	下三波川	小	ハナ	コウゾ <カズガラ>・ スルデ <オッカド>	――	――	○	――	――	――	花	130	
	大奈良	小	ハナ	――	1・2<山入>	――	○	――	――	進ぜる	花	130	
	妹ヶ谷	小	ハナ	<ミズクサ>	――	――	○	――	――	――	花	130	
	犬目	小	ハナ	<マメブシ>・ <ミズブサ>・ スルデ <オッカド>	1・2<仕事始>	ハナカキナタ	○	藁束に挿す	――	飾(藁束に挿して神棚の前に飾る)	花	131	
	保美濃山	小	十六の菊	スルデ <コンコチの 木・オッカド>	1・2<山入>	――	――	――	竹に付ける	――	飾(堆肥の上)／※16に割った竹の先にスルデの小さなものをつける	花	131
	高瀬	小	ハナ	――	――	――	――	――	――	※戦後はやらなくなった	花	131	
吉井町	安坪	小	削りバナ	ニワトコ	ハナカキ	○	――	――	飾(松飾を取った跡)／※3段に削る	花	132		
			削りバナ(短)			○	竹に付ける	――	飾(竹に挿して堆肥場に)	花			
万場町	塩沢	小	ダンバナ	スルデ	――	――	○	――	――	供(仏のハナとして仏様に供える)	花	4	
			アボヘボ	スルデ	――	――	○	竹に付ける	――	供(家内外の神仏)	作物		
	万場	小	ハナ	ニワトコ	1・1<山入>	ハナカキ	○	檜に付ける	彩色	飾(ハナを彩色して檜の木につけ、座敷の鴨居に飾る)／※山入りを<オッカドハヤシ>とも言う	花	4・ 136	
			オキンマラ (カタナ)①	スルデ <オッカド>	1・1<山入>	カマ	○	大小1組	――	供(玄関、便所、作業所、カナヤマサマ)→<ドンドン焼き>で焼く→飾(玄関に飾り、魔除)	花		
			カタナ②			カマ	○	大小1組	――	供(神棚、荒神様、仏壇)	刀		
	黒田	小	ハナ	ニワトコ	――	――	――	○	檜に付ける	彩色	飾(ハナを彩色して檜の木につけ、座敷の鴨居に飾る)	花	4
	生利	小	カタナ	スルデ	――	――	――	○	――	――	<ドンドン焼き>で焼く→飾(玄関に飾って魔除とする)	刀	
中里村	(字不明)	小	ハナ(小)	スルデ <オッカド>	1・2 <仕事始※>	――	○	――	――	供(明松・神々等)／※スルデを採りに行くことを<オッカドハヤシ>という	花	133	
			ハナ(大)			――	○	――	――	飾(堆肥場／センザイ畑)	花		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
上野村	平原	小	カキバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	—	—	○	—	供(神棚)	花	4・ 136	
			ハツバナ						供(ヌルデにハナとツボミを挿し、神棚に供える)	花		
	神ヶ原	小	カキバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2〈山入〉	カマ	○	2本1組	—	飾→20日に下ろしてイロリで焼く／※皮を剥いて削ったもの、剥かずに削ったものを1組とする	花	4・ 134・ 136
			ロクジバナ					—	—	花		
			ゴシнтаイ／ オンマラサマ					—	飾(村境に吊るし山に向かって神を呼ぶ。一年間の厄除け)	男根		
	(字不明)	小	ハナ	ヌルデ 〈オッカド ・將軍木〉	1・2〈山入※〉	—	○	—	供(氏神・井戸・釜・神棚・墓等)／※ハナは2ツ割にした丸木に削りをつけたもの、ケズリバナは 長く削りかけたもの／※ヌルデを採りに行くことをくオッカドをハヤスという	花	135	
			ケズリバナ					—		花		
			十六段ギク					—		花		
	(字不明)	小	粟穂稗穂	ヌルデ 〈カツノキ〉	—	—	○	竹に付ける	—	供飾(2ツ割にした竹の先にハナをかいいたヌルデの棒を挿し、門口・神仏・墓・石碑など正月飾り をした所すべてに供える)	作物	2
	楡原	小	ハナ(粟・稗)	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2〈山入〉	—	○	—	—	供(正月様、神棚、道祖神、山の神)	花	4
			十六バナ			切り出し	○	—	—	供(蚕神)	花	
			二十バナ			切り出し	○	—	—	供(神棚)	花	
			十六テンジン			—	○	—	—	供(神棚)	—	
			アワボヒエボ			—	○	竹に付ける	—	供(竹に挿して畑に立て、作神様に供える)	作物	
	白井	小	ハナ	—	—	—	○	2本1組	—	飾(家の入口に立てる)	花	121
	乙父	小	ケズリバナ	ヌルデ	—	—	○	—	—	供(諸神)	花	4
			アボヘボ					○	竹に付ける	—	供(神棚、家内外の神仏、玄関、畜舎)	
	川和	小	十六段ギク	ヌルデ 〈オッカド〉	—	—	○	竹に付ける	—	供(蚕神)	花	4

埼玉県

大利根町	阿佐間	小	ケズリバナ	ニワトコ 〈花木〉※	—	鉤型の刃物 ※	○	—	—	供(屋内の神様・屋敷鎮守)／※ニワトコがないと〈柳〉を使う場合も ※自家製作する家と購入する家がある	花	1
		小	タナキ・ 一六バナ	ニワトコ〈タナ キ・花木〉※	—	鉤型の刃物 ※	○	—	—	供(大神宮様の神棚)→20日に風にあわせるなどと言って19日に下げる／※ニワトコがないと〈柳〉を使う場合も ※16段に削る	花	1
騎西町	(字不明)	小	削りかけの花	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神仏)	花	2
加須市	(字不明)	小	削り掛け(一花)	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(年神様以外の神様)	花	3
			削り掛け (十六花)	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(年神様)	花	
幸手市	(字不明)	小	ケズリバナ・ ハナ	ニワトコ	※	鎌状の刃物 (専用)	○	—	—	供(母屋と附属屋の入口・床間・屋内外の神々・井戸・門など、大正月の注連飾りと取り替える。小豆粥を根元に付けて飾る地域も)／※ニワトコは屋敷林などから採ってくる	花	4
久喜市	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(注連飾りをした所)	花	5

【地域】		【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
杉戸町	(字不明)	小	ハナ・カキバナ・ケズリバナ	ニワトコ・〈柳〉※	—	鉤型の刃物(専用)※	○	—	—	供(家の神様)／※自家製作する家と購入する家がある、販売していた家も ※ 販売する家では柳を家近くの掘に植栽	花	6
							○	竹に付ける	—	飾(堆肥場に挿す)	花	
宮代町	内野・本田他	小	ケズリバナ・ハナ	ニワトコ	※	ハナカキ	○	—	—	供(神様・屋敷神等)／※自家製作する家と購入する家がある	花	7
							○	竹に付ける	—	飾(堆肥場に挿す)	花	
白岡町	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ	—	ハナカキ	○	—	—	供(正月飾りをした所)	花	8
							○	竹に付ける	—	飾(堆肥場<ハグチボッチ>に挿す)	花	
菖蒲町	新堀	小	花	〈タラン〉	—	桑刈り鎌	○	—	—	飾(玄関<トブグチ>)→苗代田に挿し、害鳥・害虫除けとした	花	9
	上栢間	小	花	ニワトコ	—	ヒッカキ(特殊な鎌)	○	—	—	供(新芽の出たニワトコの枝と共に神棚に)	花	
松伏町	魚沼	小	削り花	〈柳〉	—	—	○	—	—	供(神棚)	花	10
	築比地	小	柳の花／花	〈柳〉・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(出入口・物置・神社)	花	10
	田島	小	花	〈柳〉	—	—	○	竹に付ける	—	供／※柳の花とニワトコの蕾を竹に挿す	花	10
春日部市	内牧	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける?	—	供(屋内の神様、堆肥場には大きなものを供える)	花	11
	八丁目	小	ケズリバナ	ニワトコ・〈柳〉	—	—	○	—	—	供(神様、堆肥場には大きなものを供える)	花	11
	六軒町	小	ケズリバナ	ニワトコ・〈柳〉	—	—	○	—	—	堆肥がよくできるように作った	花	11
	赤沼	小	ケズリバナ	〈柳〉	—	—	○	—	—	—	花	11
	備後	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	—	花	11
岩槻市	(字不明)	小	ケズリバナ・ニワトコノハナ	ニワトコ	—	—	○	2本1組	頭部十字	供(神棚)→15日の小豆粥を混ぜる→供(神棚)	花	12
	裏慈恩寺	小	(ニワトコの花)	ニワトコ	—	—	○	—	—	飾(堆肥場に20～30本挿す)	花	12
	馬込	小	(ニワトコの花)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(ニワトコを花型に削り、割竹にアワボ・ヒエボを付けて大神宮・稲荷・不動・荒神・恵比寿・大黒に供える。堆肥場には大きなものを立てる)	花	12
吉川町	平沼(上河岸)	小	削り花	—	—	—	○	—	—	(詳細不明)	—	13
三郷市	(字不明)	小	ケズリカケ・ヤナギノハナ・ケズリバナ	〈柳〉	—	—	○	—	—	供(繭玉と一緒に供える)	花	14
			削りかけ	〈柳〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(割竹に挿し、畑に立てる)	—	14
	彦成	小	削りかけ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿し、神棚・軒先に1本ずつ)	—	14
			柳箸・カユバシ	〈柳〉	—	—	○	(箸)	頭部十字	15日の小豆粥を付けて供える	—	
	戸ヶ崎	小	削りかけ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿し、神棚・軒先に1本ずつ)	—	14
八潮市	(字不明)	小	ケズリカケ	〈柳〉	※	※	○	竹に付ける	—	飾(門松を取った跡に)／※購入する家も	—	15
			サクハナ	〈柳〉	—	—	○	竹に付ける	—	飾(畑に立てる)→翌日おろして<二十日焦し>を作る燃料にする。ハツカコガシは米・麦・豆等で作り、松飾りやお供えをした所にあげる	花	15
	木曽根	小	花	〈柳〉	—	—	○	—	—	供(正月棚)	花	13

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
草加市	稲荷	小	ヤナギバナ	<柳>	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、供える)／※大相模(越谷市)の農家で専門に作っていた、暮れの草加の市などで購入	花	16
	北谷	小	ケズリバナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、神棚に12個供える)	花	16
	小山	小	ケヅリバナ	<柳>	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	—	飾(ケヅリバナとニワトコの本を割竹に挿し、松飾の跡に飾る。ハキダメには特に大きなものを飾る)／※ケヅリバナは購入する	花	16
	神明	小	ケズリバナ	<柳>	—	—	○	木に付ける	—	飾(柳の木にケズリバナを付けて飾る)	花	16
川口市	(水田地帯)	小	削りバナ	ニワトコ	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、くメーダマダンゴ)と共に全ての神様に供える)／※売りに来たものを買うか自家で作った	花	17
	(水田畑作地帯)	小	削りバナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、神棚4つ・御霊様・仏・荒神・不動・稲荷・米俵・臼・門松・井戸神・便所神・納屋の入口等)に供える、ごみ捨場には大きなものを供える)→15日に下ろす／※サクノハナとも言われ稲の花を模したとされる	花	17
	(畑作地帯)	小	削りかけ	ニワトコ	—	ナイフ	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿し、堆肥小屋に飾る)／※イネのハナの意味	花	17
	石神	小	サクのハナ	<柳>・ニワトコ	(※購入)	包丁 (※購入)	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、大神宮に供える)→18日に下ろす。保存しておき、夏に雷が鳴った時にカマドで燃して雷除けとした／※ハナは鳩ヶ谷等でも売っていた	花	17
鳩ヶ谷市	(字不明)	小	サクバナ・ケズリバナ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(神様の数だけ作って供える。門松の跡・畑・掃溜めにも挿す)→神棚の物は保存しておき田植時に苗間に焼米と共に挿す	花	18
浦和市	三室 (山崎)	小	アワボヒエボ	ニワトコ	—	小刀	○	—	—	—	—	19
			サクノハナ	ニワトコ	—	小刀	○	竹に付ける	—	飾(堆肥場に挿す)	花	19
	寺山	小	—	ニワトコ	—	小刀	○	—	—	—	—	19
	玄蕃新田	小	アオヒボ	—	—	小刀 (押して削る)	○	竹に付ける	—	—	—	19
	北原	小	コエバナ	ニワトコ	—	小刀	○	竹に付ける	—	飾(堆肥場に挿す)	花	19
	中尾	小	ケズリカケ	—	—	—	○	竹に付ける	—	飾(堆肥場に挿す)	—	19
	東領家	小	ケズリバナ	ニワトコ・ <柳>	—	小刀	○	—	—	供(トシガミサマ)→庭の成木を叩く	花	19
	宿	小	花かざり	ニワトコ <アオヒボ>	—	小刀	○	竹に付ける	—	供(年神様)	花	19
	五関	小	ケズリバナ	ニワトコ <アオヒボ>	—	小刀	○	竹に付ける	—	飾(正月の松を飾った所にあげ、食べ物供える)	花	19
与野市	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ・ ハンノキ・<柳>	—	—	○	—	—	供(マユダマを飾った所や正月の松を飾った所)→15日夕方には下ろす	花	20
蕨市	(字不明)	小	アーボヘーボ・ 稲の花	ニワトコ	—	小刀	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、神棚・庭先・堆肥場に供える)／自家で作るのが普通だが鳩ヶ谷の市で購入することもある	花	21
戸田市	(字不明)	小	ハナ・作の花・ ケズリカケ・ ケズリバナ	ニワトコ・ <柳>)※	—	ハナガキ・ ナタ・小刀	○	—	—	飾(各所)／※自家で作るが、行商人が売りに来たり店頭で売られたりすることもある。自家ではニワトコがよく用いられたが、売り物の花は柳を用いたものが多かった	花	22

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
		小	アボヘボ・ アーボヘーボ・ アワボヒエボ・ アオヒモ	ニワトコ・ (柳)※	――	ハナガキ・ ナタ・小刀	○	竹に付ける	――	供(く作の花)を竹に挿し、大神宮に供える他、家によって荒神・エビス・門松の跡などに飾る。 掃溜めや堆肥場には特に長いものを立てる)	作物	22
	美女木	小	アボヘボ	ニワトコ・ (柳)※	――	ハナガキ・ ナタ・小刀	○	竹や木に 付ける	――	飾(く作の花)を割竹・葉付きの青竹・柳の枝等に挿し、大神宮・大黒柱に飾る。くマユダマ団子く の木に飾る家もある)	作物	22
	笹目(惣 右衛門)	小	アボヘボ	ニワトコ・く柳く	――	ハナガキ・ ナタ・小刀	○	竹に付ける	――	飾(三割の竹に柳の花1、ニワトコの花2を挿し、正月飾りの代りに飾る)	作物	22
	下笹目 (圃中)	1・11	作の花	ニワトコ・く柳く	――	――	○	――	――	供(大神宮)→14日に下ろしてくマユダマくと取り替える	花	22
朝霞市	浜崎	小	ケズリバナ	――	――	花かき鎌	○	竹に付ける	――	供(全ての神様)／※戦前で廃絶	花	23
			粟穂稗穂(総 称)	ニワトコくアボ ヒボの木く	――	花かき鎌	○	竹に付ける	――	供(堆肥場に)／※戦前～昭和40年頃までに廃絶	花	23
志木市	上宗岡	小	花	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	――	花	24
	中宗岡	小	アボヒボ(総称)	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(神棚すべて・道標の十六天等、大きいものも作り、くハキダメくに立てた)→20日の風・2月の 風に当てるななどと言い、正月中に取り払って燃やす	――	24
			花	ニワトコ	――	――	○	――	――	供(大神宮様)／※昭和初期頃に廃絶	花	24
	下宗岡	小	アボヒボ(総称)	く柳く	――	――	○	竹に付ける	――	供(年神様、大きいものも作りくはきだめくに立てた)→15日頃に取り払う	――	24
			削り掛け	ニワトコ くアオヒボく	――	――	○	6本1組	――	供(6本束ねて大神宮様に)／※昭和15,16年頃に廃絶	――	24
鴻巣市	滝馬室 ・郷地 他	小	ハナカキ・カキ バナ・削り花	ニワトコ・ ミズキ	――	ハナカキ鎌	○	竹に付ける	――	供(割竹に挿し、床間、神棚など屋内の神々・氏神に供える)	花	25
			〃 (16段)	――	ハナカキ鎌	○	――	――	供(歳神)	花	25	
吹上町	(字不明)	小	削り花	ニワトコ・く楊く	――	特殊な道具	○	――	――	供(神棚の正月飾りや門松の跡に供える)	花	26
熊谷市	別府	小	削り花	く花木く	――	――	○	――	――	――	花	27
	熊谷地方	小	一六花	く花木く・く柳く	――	――	○	――	――	――	花	27
江南町	小江川	小	ハナ1	くハナギく	数日前	ハナカキガマ ※	○	――	――	供(歳神・大神宮・恵比寿・荒神・仏・氏神・蔵・木小屋・車庫・出入口・蚕室・堆肥場)→16日に下 げる／※3段か5段にする ※ハナカキガマは皆谷町より入手	花	28
			ハナ2	くハナギく	数日前	ハナカキガマ	○	――	――	供(墓地)	花	28
			十二バナ	くハナギく	数日前	ハナカキガマ	○	――	――	供(蚕室・床間)	花	28
深谷市	(字不明)	小	花木	ニワトコ・く柳 く・ウツギ・ハギ	(購入)※	(購入)※	○	――	――	供(神棚)／※戦前はよく売りに来た	花	29
	中瀬	小	(ハナ(長))	――	――	――	○	――	――	(詳細不明)／※10数段削る	――	13
			(ハナ(短))	――	――	――	○	――	――	(詳細不明)	――	
北本市	深井	小	(ハナ)	ニワトコ	――	――	○	――	――	供える	花	30
	高尾	小	ヒツバナ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(割竹に挿し、玄関・各神棚・墓地などに供える)	花	30
			ジュウロクバナ				○	竹に付ける	――	供(年神棚)	花	
			コエジツバナ				○	竹に付ける	――	飾(2段程の割竹の先に花を付け、堆肥場に立てる)	花	
	荒井	小	ハナギ(小)	ニワトコ	製作当日の 早朝	ハナカキガマ	○	竹に付ける	――	供(割竹に挿し神棚に供える、堆肥場には大きなものを立てる)	花	30
			ハナギ(16段)	くハナギく			○	――	――	供(床間・年神棚)	花	

表2-3 削りかけ資料：関東30

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
桶川市	石戸宿	小	アワボ・ヒエボ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(ニワトコの花を各神様に供える。大きなくケズリ花>を薩摩芋の苗床にも立てた)	—	30
	加納	小	(花1)	ニワトコ	—	ハナカキ	○	—	—	供(神棚・屋敷神・井戸)	花	31
			(花2)				○	竹に付ける	—	飾(割竹に挿し、堆肥舎か堆肥場に立てる)	—	
	桶川	小	削り花	ニワトコ	—	—	○	—	—	※詳細不明	花	31
			ダイノコンゴウ	ニワトコ	—	—	?	—	—	飾(堆肥の上に飾る)	—	
川田谷	小	削り花	ニワトコ	—	ハナカキ	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、神棚に供える)	花	31	
上尾市	中平塚	小	ハナ	ニワトコ<ダイノコンゴウ>	—	ハナカキガマ	○	竹に付ける	—	供(割竹にハナ12個をつけ、堆肥に立てる)	花	32
	弁財	小	アワボ・ヒエボ アボ・ヒボ	ニワトコ	—	—	△	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、家の神仏に供える)／※ハナにする家もしない家もあった	—	32
	小泉	小	アワボ・ヒエボ アボ・ヒボ	ニワトコ	—	—	△	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、家の神仏に供える)／※ハナにする家もしない家もあった	—	32
	藤波	小	ハナ	ニワトコ	—	ハナカキガマ	○	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、歳神に供える、またハナとハを大きな割竹につけたものを堆肥場に飾る)	花	32
			ハ(葉)	ニワトコ	—	—	△	—	—	供(割竹にハを挿し、歳神以外の神様に供える)／※ハはニワトコの棒の3ヶ所に切り込みを入れたもの	—	
	平方上宿	小	アワボ・ヒエボ アボ・ヒボ	ニワトコ	—	—	△	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、家の神仏に供える)／※ハナにする家もしない家もあった	—	32
上野	小	アワボ・ヒエボ アボ・ヒボ	ニワトコ	—	—	△	竹に付ける	—	供(割竹に挿し、家の神仏に供える)／※ハナにする家もしない家もあった	—	32	
伊奈町	(町内 全域)	小	削り花	ニワトコ<ダイノコンゴウ>	—	専用の鎌	○	竹に付ける	—	飾(割竹に挿し、堆肥場に立てる)	花	33
	小針新宿	小	ハナ	ニワトコ<デュノコンゴウ>	—	—	○	竹に付ける	—	供(屋内の神仏に供える。堆肥の上には大きなものを供える)	花	33
	小貝戸	小	コイボウズ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(割竹にニワトコの花を挿し、堆肥の上に飾る)	花	33
坂戸市	赤尾	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	※詳細不明	花	34
	横沼	小	花	—	—	—	○	—	—	3本供える(※詳細不明)	花	34
	石井	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	※詳細不明	花	34
	鎌倉町	小	花	ニワトコ <おっかど>	—	—	○	—	—	供(神々)	花	34
	浅羽	小	花	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(歳神・その他の神々)	花	34
	掘込	小	花	ヌルデ <カツの木>	—	花掻き用の 小刀	○	—	—	供(椿の葉を添えて座敷に飾った)	花	34
川越市	宿西	小	キノハナ・ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿し、堆肥に立てる)	花	35
上福岡市	川崎	小	アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	36
狭山市	青柳	小	あおひぼ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(花型のニワトコを竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	37
	上奥富	小	あおひぼ	ハンノキ・ ネムノキ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(花型の棒を竹に挿し、堆肥場に立てる)／※ハンノキが粟、ネムノキが稗を表わす	作物	37
	掘兼	小	あおひぼ	ニワトコ	1・5	—	○	竹に付ける	—	飾(花型のニワトコを竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	37
	鶴ノ木	小	あおひぼ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(花型のニワトコを竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	37

表2-3 削りかけ資料：関東31

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】				
	南入曾	小	あおひぼ	ニワトコ	1・5	—	○	竹に付ける	—	飾(花型のニワトコく作花)を竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	37			
所沢市	(字不明)	小	粟穂稗穂	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(花型のニワトコを竹に挿し、堆肥場に立てる、各神様・門松の跡に供える)	作物	38			
妻沼町	(字不明)	小	花木	ニワトコ・く柳	—	—	○	—	—	供(正月飾りを取った跡に)	花	39			
岡部町	岡	小	ハナ	ニワトコ くハナギ	前日まで※	ハナギカキ	○	—	—	供(大神宮・床間・恵比寿大黒・荒神・お釜様・水神・俵神・仏壇・カド・氏神・便所神・井戸神・墓・その他屋外の神々など、正月の松飾と交換して飾る)→20日にさげて燃す／※庭に植栽している	花	40			
		十三階バナ	○	—			—	供(歳神様)	花						
川本町	(字不明)	小	カキハナ(1段)	ニワトコ く花木	1・11く鋳入	ハナカキガマ	○	—	—	供(門松を取った跡)	花	41			
		カキハナ(12段)	○				—	—	供(歳神様)／※閏年は13段	花					
		粟穂稗穂(総称)	○				竹に付ける	—	飾(堆肥場に立て「粟穂稗穂ぶうらぶら」と唱える)	—					
		長在家	小				一段花	○	—	—	供(土蔵・物置・家畜舎・墓・不動堂・太里天様等)		花		
		小	五段花	ニワトコ く花木	※	カキボウ	○	—	—	供(仏壇・恵比寿・屋敷神)／※ニワトコはどこでも屋敷や畑の隅にある石塚に植えてあった	花	40・42			
			七段花	○			—	—	供(歳神・大神宮)	花					
			あはへほ(総称)	ニワトコ			※	カキボウ	○	竹に付ける	—		供(堆肥場)	—	
				ダイノコンゴウ	—	—	—	○	—	—	—	男根	40		
				ショウノゴウ	—	—	—	○	—	—	—	女陰			
				田中	小	大のこごう	ネムノキくねぶつてい	—	—	○	—	—	嫁く初嫁の尻を叩く／※大正初期に廃絶	男根	42
					小のこごう	—	—	—	○	—	—	—	女陰		
	本田	小	ハナ	ニワトコ くハナギ	1・10頃※	ハナカキ	○	—	—	供(歳神・大神宮・恵比寿大黒・お釜様・仏壇・カド・氏神・井戸神・便所・稲荷・庚申・地藏)／※かつては山で採集していたが現在では庭に植栽している	花	13・40			
		十六バナ	ニワトコ くハナギ	○			2本1組	—	供(歳神様)	花					
		粟穂・稗穂	ヌルデ くオッカド	○			竹に付ける	—	供(堆肥場)／※昭和初頭に廃絶	—					
寄居町	(字不明)	小	サンガイバナ	ニワトコ くニワツク	1・6 く山入	—	○	—	—	供(年神以外の神々・門口)→保存しておき早熟の蚕のマブシにした	花	43			
		ハナ	—			○	—	—	供(年神様)／※12段又は16段	花					
		(独特なハナ)	—			○	竹に付ける	—	飾(堆肥場)	花					
	用土	小	ハナ(木刀型)	ニワトコ	※	花かき鎌	○	—	—	供(床間・松飾を取った所すべて)／※畑の隅に植えておく	花	44			
		ハナ(12段)	○				—	—	供(歳神様)	花					
		ハナ(3段)	○				—	—	供(墓)	花					
	赤浜	小	三階バナ	ニワトコ くハナギ)※	1・12、13日頃	ハナカキ	○	—	—	供(歳神・大神宮・荒神・氏神・家畜神様・井戸神・便所神・恵比寿・だるま様・工場神様・墓等)→20日の風を当てるもんじゃあねえと言い、20日前にさげて燃やす。かつては春蚕のマブシにもした／※ニワトコは庭に植栽する家も、境木として植える家も多い	花	40			
		五階バナ	○				—	—	—	花					
		七階バナ	○				—	—	—	花					
		十二バナ	○				2本1組	—	供(歳神様等)	花					
		十六バナ	○				—	—	供(歳神様)	花					
		刀	ヌルデ くオッカド				1・12、13日頃	—	○	—	—		供(歳神様)→20日前にさげて燃やす	刀	

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
児玉町	上真下	小	花	ヌルデ？ 〈ハナ木・ オッカド〉	——	ハナカキガマ	○	——	——	供(門松を立てた場所・仏壇・氏神・物置の入口)／※3段か5段に削る	花	45
			長い花	ウツギ・〈カズ〉	——	ハナカキガマ	○	2本1組	——	供(正月様)／※5段以上～10数カ所削る	花	
	保木野	小	ハナ木(短)	ウツギ	1・6 〈山入り〉	——	○	——	——	供(神棚・床間・オカマサマ・門松・便所・作業場等)	花	45
			ハナ木(長)	〈オッカド〉			○	——	——	供(歳神様)	花	
	秋山	小	ハナ(2段)	ウツギ	1・6？※	ハナカキの鎌	○	——	——	供(松を供えた所／※十二天様のカリハキ(1月6日の境内掃除)の帰りに採集	花	45
			十六バナ	ウツギ			○	2本1組	——	供(半紙と麻で結わえ、大神宮様に)	花	
	飯倉	小	ハナ(3段)	〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	——	——	供(神仏・門松の跡等)	花	45
			十六・お蚕様	〈オッカド〉			○	2本1組	——	供(水引で結わえ、神棚の上に)／※16段削る	花	
	高柳	小	刀	〈オッカド〉	——	——	○	大小1組	——	供(大小2本を歳神様に)／※刀のツバの部分に削りかけに	刀	45
	東小平	小	ハナ	〈オッカド〉	——	——	○	——	——	供(正月の飾りと取り替える他、墓にも供える)／※3段に削る	花	45
	太駄	小	ハナ(1段)	〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	——	○	——	——	供(正月に供え餅をした場所すべて)	花	45
			ハナ(3段)	ニワトコ			○	2本1組	——	供(半紙と水引で結わえ、歳神様に)／※3段に削る	花	
上里町	勅使河原	小	ハナギ	——	——	特別の鎌	○	2本1組	——	——	花	46
	神保原	小	ハナギ(2段)	ニワトコ※	——	特別の鎌	○	——	——	供(神様)／※ニワトコがない場合はウツギを使用	花	46
			ハナギ	ニワトコ※			○	2本1組	——	供(正月の棚)	花	
	七本木	小	削り花・ 十六花	ニワトコ・ ウツギ	(購入)※	(購入)※	○	2本1組	——	供(門松を取った跡)／※近年は自家製作せず、児玉町の1月13日の市で購入 ※近年は門松を廃止したので年棚に供える	花	13
	七本木 (古新田・三 田・三軒)	小	ハナ(2本)	ニワトコ	——	特別の鎌	○	2本1組	——	供(お正月様)→28日におろす	花	46
			ハナ(3本)	ニワトコ			○	3本1組	——	供(半紙と水引で結わえ、神棚に)→28日におろす	花	
	五明	小	ハナギ(2段)	ニワトコ	——	特別の鎌	○	——	——	供(門松の所)	花	46
			ハナギ(5段)	ニワトコ			○	——	——	供(神棚)	花	
神川町	(字不明)	小	けずり花(3段)	ニワトコ	1・2又は6 〈山入り〉	花掻き用の 小刀(鉤型)	○	——	——	供(門松の跡・屋内の神様・床間・仏壇・氏神・井戸・便所・物置等)	花	47
			けずり花(12段)	ニワトコ			○	——	——	供(歳神様)	花	
	新里上宿	小	花木	——	——	——	○	——	——	(詳細不明)／※2段に削る	—	13
神泉村	阿久原 地域	小	にわとこの枝	ニワトコ	——	——	○	2本1組	——	供(2本を半紙と麻で結わえ、鴨居に飾る)／※近年では略式になり、ハナを掻かないようになった	—	13
	下阿久原 (幹沢)	小	花	〈カズ〉	1・3 〈山入り〉	ハナカキ	○	——	——	供(正月に供え餅した所全て・小屋の入口・墓地の石塔全て)	花	47
	上阿久原 (寺内)	小	ハナ	ヌルデ 〈オッカド〉	——	ハナカキ	○	——	——	供(神棚以外の普通の神様)→20日〈仕舞い正月〉に下げる	花	47
			ハナ	〈カズの木〉			○	——	——	供(神棚)→20日〈仕舞い正月〉に下げる／※3段に削る？	花	
			(粟穂稗穂)	——			○	竹に付ける	——	飾(堆肥場)	—	
	上阿久原 (住居野)	小	花(3段)	ニワトコ 〈花の木〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	2本1組	——	供(2本1組で正月様・神棚・仏壇に)→20日におろして燃やす／※3段に削る	花	47
			(門松)の花				○	竹に付ける	——	供(門松の正月の注連と交換)→20日におろす	花	
			(堆肥)の花				○	竹に付ける	——	飾(堆肥場)→20日におろす	花	

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
小川町	上阿久原 (林)1	小	小さな花	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	—	—	供(正月の門松や飾りと取り替える)／※2カ所の切込を入れる	花	47
			一六の花	ヌルデ 〈オッカド〉※			○	4本1組※	—	供(座敷)／※以前はコウゾ?〈カズカラボウ〉を用いた ※4カ所の切込を入れた棒を4本	花	
			(削り片?)	〈カズの木〉			○	—	—	供(正月様のお棚の松と交換)／※「鎌で削って一カ所にまとめ、削った部分を切り取ったもの」	—	
	上阿久原 (林)2	小	花(短)	ニワトコ	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	—	—	供(正月の飾り・松と交換する)	花	47
			花(長)	ニワトコ			○	—	—	飾(〈カッテモト〉)	花	
	高見	小	削り花	—	—	—	○	—	—	—	花	48
			能増	小	(ハナ)	—	—	—	○	—	—	供(歳神様)
	小	あぼひぼ			—	—	—	○	竹に付ける	—	供(堆肥場)	—
	伊勢根	小	ハナ(3段)	ウツギ・ニワトコ ※・ヌルデ 〈オッカド〉	—	ハナカキ (専用の小刀 や鎌)	○	—	—	供(歳神棚・神棚・仏壇・お勝手・氏神・井戸・小屋・手洗い・物置・庚申・馬頭観音・墓地等、マユ ダマと共に供える)→20日頃までにおろす／※昔はニワトコを畑の脇に植えておく	花	48・ 調04
			ハナ(長)	ニワトコ			○	—	—	供(母屋の入口や歳神様)／※歳神様のものは12段に削る	花	
			アボヘボ	—			○	竹に付ける	—	供(堆肥場)／※昭和初めに廃絶	花	
	高谷	小	ハナ・ カキバナ	ニワトコ※ 〈ニワツク〉	—	専用の小刀 や鎌	○	—	—	供(お勝手・井戸神・雪隠様・仏壇・恵比寿・門松の杭・墓)→20日の風に吹かせるなどといって16 日にはおろして燃す／ニワトコは畑の土手などに作っておく	花	48・ 調04
ハナ(12段)			—	○			—	—	供(歳神様)	花		
粟穂稗穂1			ニワトコ 〈ニワツク〉	—	○		竹に付ける	—	供(堆肥場に挿す)／※1は、割竹にニワトコのハナとヌルデの蕾をつけたもの、2は割竹にオッ カドの棒(皮剥いたものと剥かないもの)をつけたもの。2種類作っていたが、今は2のみになっ ている	—		
粟穂稗穂2			ヌルデ 〈オッカド〉	—	×		竹に付ける	—	—	—		
刀大小			ヌルデ 〈オッカド〉	—	—		○	3本1組	—	成木(子供達がこれを持って柿木を叩いて歩く)／※刀のツバの部分の削りかけに	刀	
ダイノコボウ			ヌルデ 〈オッカド〉	—	—		○	—	—	供(小正月の神様は女なので供える)	男根	
靱負	小	粥掻き棒	ヌルデ 〈オッカド〉	—	—	○	—	頭部十字	15日の小豆粥を混ぜる／※簡単にハナを掻いたもの	—	48	
下里	小	ハナ	—	—	専用の小刀 や鎌	○	—	—	供(正月の松飾・お供えをした所)	花	48	
上古寺	小	一六バナ	ニワトコ〈ハナ カキの木〉	—	専用の小刀 や鎌	○	—	—	供(歳神)／16段に削る	花	48	
		ハナ	ニワトコ〈ハナ カキの木〉			○	竹に付ける	—	供(歳神)／16段に削る	花		
		あぼひぼ(粟穂 稗穂)	—			○	竹に付ける	—	供(畑のヘリ)	—		
腰越	小	ハナ	ヌルデ 〈オッカド〉	2日位前※	ハナカキ	○	竹に付ける	—	供(床間・恵比寿大黒・氏神・臼・俵神(蔵)・便所)→20日の風を受けないようにと言い、19日には さげて燃やす／※かつては山に採りに入ったが現在では庭に植栽してある	花	40	
		十六花	ヌルデ 〈オッカド〉	2日位前※	ハナカキ	○	—	—	供(歳神様)→一年中供えておく	花		

表2-3 削りかけ資料：関東34

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
嵐山町	(字不明)	小	三階バナ	ニワトコ	1・11	ハナカキ	○	—	—	供	花	64	
			十二バナ				○	—	—	供(歳神)	花		
			十六バナ				○	—	—	供(蚕神)	花		
			アボヘボ				—	1・11	ハナカキ	○	—		—
	太郎丸	小	三階のハナ	くハナギ	—	—	○	—	—	供(大神宮・恵比寿大黒・荒神・仏壇・カド・氏神・井戸神・便所・物置・蔵・堆肥舎・墓・神社・地藏様・庚申様)	花	40	
			十二バナ	くハナギ			○	—	—	供(歳神様)	花		
			カユカキボウ	くハナギ			○	2本1組	頭部十字	頭部に団子を挟み、15日の小豆粥を混ぜる→神棚に→苗代田の水口に立てる	—		
			ダイノコ	くハナギ			○	—	—	供(歳神様)	男根		
	杉山	小	ハナ	—	—	—	○	竹に付ける	—	—	—	40	
			十二バナ	—			○	—	—	—	—		
			カタナ	—			○	—	—	—	—		
	遠山	小	ハナ	くハナギ	—	—	○	竹に付ける	—	供(歳神・大神宮・床間・恵比寿大黒・お釜様・カド・氏神・井戸神・便所神・宇佐八幡様)→17日にさげる	花	40	
			十二バナ	くハナギ			○	—	—	供(歳神様)→一年中供えておく	花		
	滑川町	(字不明)	小	ハナ	ニワトコ くハナギ・ ワカギ	1・11、13、14日 のいずれか く若木迎え	ハナカキ	○	—	—	供(家の各所に、松飾や注連飾と交替で飾る)	花	49
				十二花				○	—	—	供	花	
				十六花				○	—	—	供(床間か神棚・年神のある居間の天井など)	花	
アボヒボ・ アボヘボ				ヌルデ くオッカド				○	竹に付ける	—	飾(ヌルデの花(アボ)とヌルデのボウ(ヒボ)を割竹に挿し、堆肥の上などに挿す)	—	
福田 (下中郷)		小	十六花	—	—	—	○	—	—	—	花	49	
羽尾(表)		小	十六花	—	—	ハナカキ	○	—	—	—	花	49	
都幾川 村	番匠	小	ハナ	ヌルデ くカツの木	—	—	○	—	—	—	花	50	
			小	粟穂稗穂	ヌルデ くカツノキ	—	—	—	—	—	供(家内外の神様・畑・外だめ・墓など)		作物
	田中	小	ハナ	—	—	—	○	—	—	12段を年神へ、各神	花	50	
	雲河原	小	アボヘボ	ヌルデ くカツノキ	1・7、11、13日 等	ハナカキ・ カキガマ	○	竹に付ける	—	供(門松の跡・氏神・庭・庭入口・井戸神様・歳神・大神宮・その他の神仏・山の神)→1週間程で さげて焼く	花	40・ 50	
			十二バナ	ニワトコ			○	—	—	供(歳神様)→1週間程でさげて焼く	花		
	大野	小	ハナ(15段)	ヌルデ くオッカド	1・13	—	○	—	—	供(正月様)	花	50	
	大里村	(字不明)	小	カキバナ	く楊	—	ハナカキ	○	—	—	飾(団子と一緒に飾る)	花	51
カキバナ (12段・16段)				—	—	ハナカキ	○	—	—	供(床間・大神宮)	花	51	
玉作		小	カキ花	—	—	—	○	—	—	(詳細不明)	—	13	
吉見町	大串	小	十二花	—	—	—	○	—	—	(詳細不明)	—	13	
			(花)	—	—	—	○	—	—	飾(小さい花とツボミをつけたものを作り、一年のゴミを掘り起こして作った塚に挿す)	—		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
東松山市	(字不明)	小	削りかけ	ニワトコ?<オックアド・花木>	1・6<山入り>又は1・11	花かき (鉤型の小刀)	○	――	――	供(門松の跡・お釜様・屋敷稲荷・墓・井戸等、堆肥の上)／※「削りかけ」＝「削りはじめたの」、「一階花」＝「一つの場合」	――	52
			一階花				○	――	――		花	
			十六花				○	――	――		花	
	東平	小	削り花	――	――	――	○	竹に付ける	――	――	花	52
	大岡 (大谷)	小	一階花	――	――	――	○	――	――	供(門松の跡・お釜様・稲荷・墓・井戸)	花	65
16花			――	――	――	○	――	――	供(年神様)	花		
東秩父村	安戸	小	ハナ(3段)	ヌルデ <オッカド>	1・3すぎ	ハナカキ	○	――	――	供(神棚・床間・便所神・仏・恵比寿・オカマ様・井戸神・物置・氏神など松飾を飾った所、野仏に供える人も)	花	調04
			ジュウロクバナ	ニワトコ <ニワツク>	1・3すぎ※		○	――	――	供(神棚の上)／※庭の隅に植えて仕立てておく	花	
	旧槻川村 (大内沢・坂本・皆谷・白石)	小	ハナ	ミズキ・ <ミズクサ> キブシ<マメブチ>・ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(神棚・氏神・墓・畑の隅など、正月の松飾をした所)	花	53
	大内沢	小	ハナ	ヌルデ<オッカド>・ミズキ <ミズクサ>・ニワトコ	1・2～7までの 良い日	――	○	――	――	供→恵比寿講の風に当てるなど言い、18日にさげる	花	40
			十六バナ	――			○	――	――	供	花	
	御堂	小	ハナ	ミズキ <ミズクサ>	――	ハナカキ	○	――	――	供(歳神・神棚・恵比寿大黒・お釜様・白神・天道神・雪隠神・仏壇・俵神・カド・氏神・井戸神・庭松・鎮守・御嶽様・不動様・愛宕様・地藏様)→20日正月はおととい来いと言い、20日前にさげる→桑摘みカゴに保管しておき、蚕のマブシにする	花	40・54
			ノバナ	ニワトコ			○	――	――	供(墓地)／※2段に削る	花	
			十六バナ	ニワトコ			○	――	――	供(オシラサマ)	花	
			ケイボウズ	ヌルデ <オッカド>			○	竹に付ける	――	供(堆肥場)	――	40
	皆谷	小	ハナ	ミズキ <ミズクサ>	1・7 <七草頃>	ハナカキ	○	竹に付ける	――	供(歳神・神棚・恵比寿・大黒・お釜様・天道柱・仏壇・カド・井戸神様・便所・物置・鳥小屋・八幡神社・末社4社・弁天様・庚申様)→20日の風に合わせるなど言い20日前にさげる	花	40・調03 調04
			ハナ(短)	ヌルデ <オッカド>			○	――	――	供(墓)	花	
			ジュウロクバナ	ミズキ			○	竹に付ける	――	供(神棚)	花	
			コイボウズ	――			○	竹に付ける	――	飾(庭の堆肥場)	――	
			ダイショウ	ヌルデ <オッカド>	1・7 <七草頃>	――	○	2本1組	――	供(神棚)	刀	
			カヌカキボウ	――			○	2本1組	――	供(神棚)→15日の粥を混ぜる→田の水口に立てる	――	
	白石	小	ハナ	ミズキ <ミズクサ>	――	――	○	竹に付ける	――	――	花	55
長瀬町	(字不明)	小	中花	ヌルデ <オッカド>・ キブシ <マメブシ>・ ミズキ・ ニワトコ <ニワツク>	1・2 <山入り>	――	○	――	――	供→17日に下げる→保存しておき初午の餅を作る際に燃やす。かつては初午の朝、庭に竹を立て、養蚕のマブシに使う<カキ花>・養蚕用具などを添え、お蚕神様、天の虫を拝んだ	花	56
			小花				○	――	――		花	
			三階花				○	――	――		花	
			キッカキ花				○	――	――		花	
			十六階花				○	――	――		供(一年中供えておく)	
			ケイボーズ				○	竹に付ける	――	供→17日に下げる	――	

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】						
	風布	小	ハナ(長)	キブシ 〈マメブシ〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	竹に付ける	――	供(正月様・オカマ様・テントウ様・トボウ・氏神様・ヒゲンサマなど)→19日の風に当てるなど言い、18日に下げる→保存しておき早熟の春蚕のマブシにする	花	40・ 54・ 56					
			ハナ(短)	ヌルデ 〈オッカド〉			○	竹に付ける	――		花						
			十二のハナ	ニワトコ			○	――	――		花						
			十六花	ニワトコ			○	2本1組	――		花						
			ケイボウズ (総称)	ヌルデ 〈オッカド〉			○	竹に付ける	――	供(堆肥場)	――						
			カユカキボウ	ヌルデ 〈オッカド〉			○	2本1組	頭部十字	供(歳神様)	――						
			太刀				○	――	――	供(正月様・便所様)	刀						
			ウス				○	――	――	供(歳神様)	刀						
	本野上	小	ハナ(長)	ヌルデ 〈オッカド〉・ キブシ 〈マメブチ〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	竹に付ける	――	供(歳神に4本、大神宮・恵比寿大黒・お釜様・仏様・オソウデン様・雪隠神・テントウ様・トボウグチ・納屋・床間)→19日や20日の風に合わせるなど言い、20日の恵比寿講前にさげる→2月の初午の餅を作る際に焚くか、早熟の春蚕のマブシに(以下同)	花	13・ 54					
			五カイバナ				○	――	――		供(歳神・穀物置場)／※5段に削る。5は五穀を意味する		花				
			七カイバナ				○	――	――		供(歳神・農具置場)／※7段に削る。7は七つ道具を意味する		花				
			三ガイバナ	ニワトコ			○	――	――	供(歳神・臼神・庭の杭2本・井戸神・氏神)／※3段に削る	花						
			ニカイカキバナ	ヌルデ 〈オッカド〉			○	――	――	供(寺・墓・野仏)	花						
			八十八 カイバナ				○	――	――	供(歳神様)／※88回カク	花						
			ヒモバナ・ キヌイトバナ				○	竹に付ける 2本1組	――	供(お蚕神様)／※1月13日の虚空蔵様の縁日の市でも販売	花						
			八カイイトバナ	ニワトコ			○	2本1組	――	供(2本1組でお蚕神に)	花						
			十六バナ1	ニワトコ			○	2本1組	――	供(2本を半紙と水引で結わえお蚕神に)→一年中あげておく	花						
			十六バナ2	ウツギ			○	2本1組	――	供(ニワトコの十六バナより小型のものを作り、2本をお蚕神に)	花						
			二十五 カイバナ	ニワトコ			○	2本1組	――	供(12段・13段のものを2本揃え、床間に飾り天神様に供える)	花						
			ミズバナ	ミズキ 〈ミズクサ〉			○	2本1組	――	供(左右に出た枝と枝の間の幹を8段搔き、2本揃えて天井裏へあげる)→火難よけとして一年中供えておく	――						
			ケイボーズ (総称)	キブシ 〈マメブシ〉			○	竹に付ける	――	供(堆肥場)	――						
			マモリガタナ	ヌルデ 〈オッカド〉			○	――	――	供(歳神・大神宮・恵比寿大黒・天神(床間)・氏神・仏様・雪隠神に)／※刀のツバの部分进行削り残す	刀						
			タカラブネ	ヌルデ 〈オッカド〉			○	――	――	飾(床間)／※削りかけで帆を表現	――						
			皆野町	三沢			小	ハナ	1・2 1・6 〈山入り〉	ハナカキ	○		竹に付ける	――	供(歳神・大神宮・仏壇・天道柱・カド・井戸神・地神・便所神・氏神等)→16日にさげて燃す→かつては保存しておき、早熟の春蚕のマブシにした	花	40・ 58

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
			十二バナ	ニワトコ	1・2 1・6 〈山入り〉	ハナカキ	○	—	—	供(歳神)	花	40・58
			十六バナ	ニワトコ			○	—	—	供(座敷の蚕神)	花	
			コイボウズ	—			—	○	竹に付ける	—	(詳細不明)	—
	平草	小	ケズリバナ	ヌルデ 〈オッカド〉	1・6 〈山入り〉	ハナカキ	○	—	—	供(歳神様、大神宮様(各2本)・恵比寿大黒・氏神・天道柱・便所・カド・井戸神・地神・墓)→16日におろす	花	58
			十六バナ	ニワトコ 〈ニワツク〉			○	—	—	供(蚕神様)→16日におろす	花	
	谷草	小	削り花	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	—	○	—	—	—	花	58
	下田野	小	ハナ1	キブシ 〈マメブシ〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	竹に付ける	—	供(神棚・恵比寿大黒・お釜様・仏壇等)→恵比寿講の風に当てるもんじゃあねえと言ひ、16日にさげて燃す	花	13・40・58
			ハナ2	ヌルデ 〈オッカド〉			○	—	—	供(墓・神社・山の神・薬師・稲荷・如意輪塔)	花	
			十六花	ニワトコ			○	—	—	供(オシラ様)	花	
			ケイボウズ	ヌルデ 〈オッカド〉			○	竹に付ける	—	供(堆肥場)	—	13
吉田町	(字不明)	小	キンマラ	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	—	○	—	—	供(井戸神)／※井戸神は女神。夏の日照りで困った時にも雨乞いの為にこれをお供える家もあった	男根	60
			大小	—		△	—	—	供(大小を歳神に、大を便所神に)／※刀のツバの部分の部分を少し削り残す	刀	60	
	千鹿谷 (合角)	小	削り花	ヌルデ 〈オッカド〉	—	小型の鎌	○	—	—	作って豊作祈願とする	花	61
小鹿野町	藤倉	小	ハナ	キブシ 〈マメブチ〉・ ホオノキ・ ヌルデ 〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	小型の鎌・ ハナカキ	○	竹に付ける	—	供(タカダナ(歳神の棚)・恵比寿大黒・荒神・蚕神・稲荷・仏壇等)→20日の風に当てるなどと言ひ、17日に下げて〈ジロ(イロリ)〉で燃やす→1本だけ保存しておき、早熟な春蚕のマブシとした	花	40
秩父市	(字不明)	小	十六花	ヌルデ 〈オッカド〉	1・2 〈山入り〉	—	○	—	—	供	花	62
	上宮地町 (上ノ台)	小	削り花・飾り花	ミズキ 〈ミズクサ〉	—	削鎌(鉤型)・ 花カキ刀	○	—	—	供(小正月様)／※2本1組にして、1月13日の虚空蔵の縁日の市で販売する	花	13・62
	浦山	小	ハナ	ミズキ 〈ミズクサ〉	1・2 〈山入り〉	ハナカキ	○	竹に付ける	—	供(歳神・大神宮・恵比寿大黒・お釜様・仏壇・カド・井戸神・氏神・便所・地神・墓)→20日の風に吹かせるなどと言ひ、18日にさげる	花	40
ジシンサマ			—	○			竹に付ける	—	供(座敷の神棚の下)	—		
両神村	(字不明)	小	仏花(ほとけ)	—	—	—	○	—	—	(詳細不明)	—	13
	薄	小	イドガミサマ	ヌルデ 〈オッカソ〉	1・2 〈山入り〉	—	○	—	—	供(水が枯れないよう井戸の女神に供える)→一年中供えておく	男根	40
荒川村	(字不明)	小	花	ヌルデ 〈オッカド〉?	1・2 〈山入り〉	—	○	—	—	供(仏様)	花	63
			井戸神様	—		○	—	—	供(水が絶えることのないよう、井戸に供える)	男根?		

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
栃木県												
那須町	半俵	小	あーぼへーぼ (総称)	ヌルデ くのでんぼ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(皮を剥かないものをへーぼ、半分剥いて少し削りかけたものをあーぼとして竹に成らし、神棚・仏壇・堆肥場等に立てる)	作物	1
西那須野町	西赤田	小	ハナ(アワボー ヒエボー)	くノデンボ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(アワボー・ヒエボー、ハナを竹に挿し、堆肥の上に立てる)	花	2
大田原市	羽田	小	ヒエボ・アワボ (総称)	くノデンボ	—	—	?	竹に付ける	—	飾(くノデンボ)の先を切り刻み、くミズヌキの枝を垂らして堆肥場に飾る)／※詳細不明	—	3
湯津上村	(字不明)	小	稗穂・粟穂 (総称)	ヌルデ くノデンボ	—	—	?	竹に付ける	—	飾(棒状のヌルデの皮に切り目をつけたものを粟穂、そのままのものを稗穂として竹に挿し、堆肥の上に立てる)	作物	4
矢板市	(字不明)	小	削り花 (ああぼう・へい ぼう・米のぼう)	ヌルデ くのでんぼう・ ニワトコ	1・6く山入	特殊な鉋	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗・米の3種類の花を作り、竹に挿して神棚・堆肥の上に立てる)	花	5
馬頭町	(字不明)	小	かぎ花アーボ・ ヒエボー	くノデボウ	—	—	○	—	—	飾(くノデボウ)で作り、堆肥の上に立てる)	花	6
喜連川町	(字不明)	小	粟穂・稗穂	ヌルデ くのでん棒	1・6く山入	—	○	竹に付ける	—	飾(削りかけを竹に挿し、年神・大神宮・床間・蒼前様・倉・便所・堆肥などに飾る)	—	7
	鶯宿	小	花	くのでん棒	1・6く山入	—	?	竹に付ける	—	供(年神・大神宮2本・床間・そうぜん様・倉・便所・井戸・馬屋肥に飾る)	花	8
南那須町	三箇	小	ひーぼ、あー ぼ	くのでんぼー	1・6く山入	—	○	—	—	—	—	8
氏家町	(字不明)	小	アーボへーボ (総称)	ヌルデ くノデボ	1・6く山入	花かき鎌	○	竹に付ける	—	飾(粟穂と稗穂を削り、竹に挿して神棚・お釜様に供え、庭先堆肥の上に立てた)	作物	9
高根沢町	(字不明)	小	粟穂・稗穂 (総称)	ヌルデ くノデッボウ	1・6く山入	—	○	竹に付ける	—	飾(削りかけにしたもの(粟穂)と切り込みを入れただけのもの(稗穂)を竹に挿し、松飾をした所・堆肥場の上に立てた)→20日の風に当てるなどといって前日の夕方までに下ろした	作物	10
芳賀町	(字不明)	小	ヒエボー・アー ボー(総称)	ヌルデくモチ バシの木	—	—	○	竹に付ける	—	飾(削りかけたヌルデと棒状のヌルデを竹に挿し、堆肥場の4隅に2、3本ずつ立てる)	—	11
鹿沼市	上久我	小	ハナ	ニワトコ	(1日以内※)	カギ鉋の 小さなもの	○	—	—	飾(正月の松を下げた跡に)／※街角で年寄が売っているのを買った。自分で作る家もあった。ニワトコは伐採から1日以上経つと削れない	花	12
			アーボへーボ	—	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ハナと共に竹に挿し、堆肥場に立てる)	作物	
	上石川	小	カキバナ	ミズキ	—	—	○	団子木に 付ける	—	飾(マユダマと共にくジサの木)に付け、仏様・大神宮・恵比寿・氏神・福の神(蔵)・井戸神・便所・塚・堆肥場などに飾る)	花	13
	古峰ヶ原	小	(花びらにした 棒)	くノデンボウ	1・4く山入	—	○	—	—	飾(戸口)	花	14
	笹原田	小	アーボウ・ ヒエボウ	くノデンボウ	1・6く山入 ／※購入	—	○	竹に付ける	—	飾(ヒエボウ・アワボウと共に花を竹に挿し、松飾の跡全てと堆肥場に立てる)／※花は鹿沼市のく花市で購入することも	作物	15
粟野町	(字不明)	小	アワボウ・ ヒエボウ	ヌルデ くノデンボウ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(棒状のヌルデと花を竹に挿し、正月の松飾の跡に供える。堆肥場には特に大型のものを供える家もある)	作物	16
	栃原	小	(花)	くノウデンボウ	—	—	○	—	—	飾(正月の松の跡)	花	17
	馬置	小	(ハナ)	くノウデンボウ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ハナを竹に挿し、正月の松の跡に立てる)	花	17

表2-3 削りかけ資料：関東39

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
		発光路 小	ハナ	ノデンボウ	—	—	?	—	—	飾(く半分皮をむくかむかないくらい)にしてマユダマと共に畑・山ノ神に供える。ハナには15日の小豆粥を供える)	花	17
都賀町	(字不明)	小	アーボウ・ヘーボウ	ヌルデ ノデンボウ・コウソ	—	かぎなた	○	竹に付ける	—	飾(アーボウ・ヘーボウ、ハナを竹に挿し、堆肥場や門松を立てた所に飾る)	花	18
栃木市	(字不明)	小	削り花 (粟穂稗穂)	ヌルデ ノデンボ・柳	※(購入)	※(購入)	○	竹に付ける	—	飾(表面に傷をつけたもの(稗穂)と皮を半分剥いたもの(粟穂)と共に削り花を竹に挿し、門松の跡・堆肥場などに飾る)→15日の小豆粥を供える→く20日の風にあわすな>と言って19日に下ろす／※第2次大戦以前は13日の初市(ハナイチ)にく削り花屋>がいくつも出店した	花	19
大平町	(字不明)	小	アワボヒエボ	ヌルデ	—	—	○	—	—	飾(堆肥の上に挿す)	作物	20
藤岡町	(字不明)	小	花	ヌルデ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(堆肥の上に挿す)	花	21
		釜場 小	花木	柳・ヌルデ くうつぎ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	22
		本郷 小	花木	〃	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	22
		赤麻 小	花木	〃	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	花	22
葛生町		秋山 小	アボヒボ(総称)	ヌルデくヌウ デンボウ・コウソくカズカラボウ	1・2く山入>の後／※(購入)	ハナカキナタ	○	竹に付ける	—	飾(ヌルデ棒とハナを竹に挿し、家の内外の神々・堆肥場などに飾る)→く20日の風にあわせるな>と言って20日前に下げた／※葛生方面から売りに来た。自家で作る人も	—	23
佐野市	(字不明)	小	花木・カキ花	ノデボウ	—	—	○	—	—	—	—	24
		赤見 小	アーボーヒエボ (総称)	ヌルデ・ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ヌルデやニワトコと花木を竹に挿し、大神宮・堆肥の上に飾る)	—	24
		高山 小	花木	柳・ヌルデ くうつぎ・ニワトコ	—	—	○	—	—	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	—	22
足利市	(字不明)	小	花木	ニワトコ	1・6く山入>	—	○	—	—	飾る	—	25
栗山村	土呂部	小	ヒエンボウ・アワンボウ	ミズクサ・ノデボウ	—	花カキナタ	○	—	—	飾(堆肥場に挿す)	—	26
日光市	江ノ久保	小	アワボ・ヒエボ (総称)	ヌルデ ノデボ	1・6く山入>	—	○	竹に付ける	—	飾(表皮にナタ目を入れたもの(稗穂)と表皮を剥いたもの(アワボ)とともにカキ花>を炊け煮挿し、堆肥場の上・年神・恵比寿大黒・大神宮・オカマ様・氏神・便所流し・馬屋に飾る)／※カキ花は今市の初市で買ってくる)	花	27
足尾町	唐風呂	小	粥かき棒	ヌルデ	1・6く山入>	—	○	団子を付ける	—	15日のくシラ粥>をかき混ぜ、歳神様に供える。頭部に団子を挿す。この団子を風邪の際に食べると熱が下がる、棒を正月のイロリで燃やすとヤケドをしない等と言われる	—	28

茨城県

内原町	赤尾関	小	粟穂稗穂	ヌルデ ノデッボウ	—	—	？※	竹に付ける	—	飾(刻みを入れた木を竹に挿し、堆肥場に立てる)	—	1
取出町	市之代	小	アワボー・ヒエボ (総称)	ヌルデ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ヌルデの花を竹に挿し、堆肥場に立てた)	花	2

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	貝塚・稲・ 上高井・ 下高井・ 米ノ井・ 野々井	小	〃	ヌルデ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(ヌルデの花を竹に挿し、堆肥場に立てた)	花 2	
	寺田本郷	小	花	ヌルデ	――	――	○	団子木に 付ける	――	飾(くナラセ餅)の木に飾りつける)	花 2	
下妻市	(字不明)	小	アーボーヒー ボー(総称)	ヌルデ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(ヌルデの削り花を割竹に挿し、堆肥場に立てる)	花 3	
猿島町	釜口	小	ケズリバナ	ヌルデ	――	花かき	○	竹に付ける	――	供(大神宮など、家内外の神々に供える)	花	4
		小	アボヘボ	ヌルデ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(堆肥場に立てる)→く20日の風にあてるな>と言って19日か20日早朝に下ろす	――	
	中生子西	小	カザリバナ	――	――	――	――	――	――	供(神々)	花 4	
	然山	小	アボヘボ	ニワトコ・ ヌルデ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割竹に挿し、堆肥場に立てる)→く20日の風にあてるな>と言って19日か20日早朝に下ろす	―― 4	
五霞町	元栗橋	小	花	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割竹に挿して家中の神仏に供える、堆肥の上にもたてる)／※14日をくハナカキの日>と言う	花 5	
三和町	大和田	小	オハナ	ヌルデ	――	――	○	団子木に 付ける	――	飾(マユダマにつける) ※鉛筆を削るように削る	花 6	
	新和田	小	花	――	――	――	○	団子木に 付ける	――	飾(マユダマにつける)	花 6	
	小立野	小	花	ヌルデ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(堆肥場に立てる)	花 6	
古河市	鳥喰	小	花木	く柳>・ヌルデ ・くうつぎ>・ ニワトコ	――	――	○	――	――	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	―― 7	
	中田	小	花木	く柳>・ヌルデ ・くうつぎ>・ ニワトコ	――	――	○	――	――	供(屋敷内の神仏・納屋・堆肥場などに、松飾の代りに供える)	―― 7	
岩井市	(字不明)	小	ケズリバナ	ヌルデ	――	花かき	○	――	――	飾→く20日の風にあてるな>といってそれまでに下ろす	花 8	
	長須	小	ハナ	く柳>	――	――	○	――	――	飾(門松の跡に立て、小豆粥を供える)→20日までに下ろす	花 9	
		小	アワツボヒエツ ポ	ニワトコ・キリ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割竹に挿し、庭に飾る)→く20日の風邪にあてるな>と言って10日に下ろす	―― 9	

千葉県

栗源町	(字不明)	小	(成木)	く松>	※	—	○	—	—	成木(子供達が「なり申すか」と唱えながら柿木を叩く)／※門松の松を「表皮を落とさないように、ざらざらとさがるように切り、切り幣を付ける	—	1
沼南町	布瀬	小	(アーボ)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(く花>のように削ったニワトコを竹に挿し、堆肥に立てる)	花	2
東金市	(字不明)	小	(成木)	く柳>	—	—	×	—	—	成木(柳の木に幣束を付けて叩いて歩く)	—	3
四街道市	亀崎	小	かゆばし	クリ	—	—	○	—	—	15日の小豆粥を混ぜ、年占→子供が玩具にした／※粥が付きやすいように割目や「削りがけの突起」を付けた	—	4
千葉市	小食土	小	ほっこつ棒	く松>※	—	—	×	—	—	子供達がくほっこつ棒>で竹を叩きながら家々を門付け／※門松の一部を利用、棒に色紙を短冊に縛り付けたもの	—	5

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	越智	小	ほっこつ棒	——	——	×	——	——	供(神棚)→成木(果樹を叩く)／※棒に紙を短冊に縛り付けたもの	——	5	
我孫子市	旧湖北村	小	アワボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(花びらの様に削ったニワトコを竹に挿し、堆肥に立てる)	花	6
	白井市	富塚	小	アボヒボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(くケズリカケ)を篠竹に挿し、堆肥に立てる)	——
柏市	(字不明)	小	ケズリカケ／ ケズリバナ	〈柳〉	(※購入)	(※購入)	○	——	——	供(高棚)／※ケズリバナは暮れに売りに来た	——	8
	名戸ヶ谷	小	アボヒボ／ アボヘボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(く削花)にしたものと皮付きのままのニワトコを竹や篠竹に挿し、お供えをあげた所全て、堆肥の上に飾る)→20日に下ろす	花	8・9
	増尾	小	アボヒボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(ケズリカケにしたものと棒状のニワトコを篠竹に挿し、松飾りの跡と堆肥小屋に飾る)	——	9
	藤心	小	アボヒボ	〈ウツギ〉	——	——	○	竹に付ける	——	供(花びらのように削ったウツギを篠竹に付け、供え餅をあげた所・門松の跡・堆肥に供える)	花	9
	酒井根	小	アボヒボ(総称)	ニワトコ〈アボ ヒボの木〉	——	——	○	竹に付ける	——	飾(く削花)にしたものと皮付きのままのニワトコを竹や篠竹に挿し、15日の小豆粥を付け、松をあげた所全て・堆肥の上等に立てる)／※アボヒボは箸であるとする	箸	8・9
	大室	小	アワボ・ヒエボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(花の形にしたニワトコを四割の竹に挿し、神棚に供える)	花	9
	篠籠田	小	ケズリカケ／ ケズリバナ	〈柳〉	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	——	供(12個のケズリバナを竹に挿し、大神宮に供える)／※ケズリバナは暮れに売りに来た	花	8・9
			アボヒボ	ヌルデ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(削りかけにしたヌルデを二割の篠竹に挿し、神棚等に供える)	——	
	松ヶ崎	小	アボヒボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(ケズリカケにしたものと棒状のニワトコを割竹に挿し、神棚・仏様・堆肥へ供える)	——	9
	布施	小	アボヒボ	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	飾(ケズリカケにしたニワトコを篠竹に挿し、神棚・堆肥に飾る)	——	9
	小青田	小	ケズリカケ／ ケズリバナ	〈柳〉	(※購入)	(※購入)	○	——	——	飾(堆肥の上にアボヒボ(ニワトコ製・削りかけなし?)>と共に立てた)／※ケズリバナは暮れに売りに来た	花	8
船戸	小	ハナ	〈柳〉	(※購入)	(※購入)	○	——	——	供(15日の小豆粥を混ぜるハシ(ナナカマド製)等と共に仏様・門松の跡・神様に供える)／※ハナは購入する	花	8	
流山市	(字不明)	小	アボヒボ／ 削り花／柳の花 ／削り掛け	〈うつぎ〉・ ニワトコ・〈柳〉	——	鎌・小刀	○	——	——	飾(房状にしたもの〈粟穂〉と皮を剥いたもの〈稗穂〉を正月飾りの跡・堆肥に供える)	作物	10
	旧流山 地区	小	削り花	——	——	——	○	団子木に 付ける	——	飾(くマユダマ)に付け、正月飾りの跡・堆肥に供える)	花	10
	(町場)	小	柳の花	〈柳〉	——	——	○	団子木に 付ける	——	飾(くメーダマ)に付ける)	花	10
	深井新田	小	削り花	〈うつぎ〉・ ニワトコ・〈柳〉	(※購入)	(※購入)	○	——	——	供(歳神様・その他の神々・堆肥等に供える)／※暮れに購入	花	10
	元八木	小	削り花	〈うつぎ〉・ ニワトコ・〈柳〉	——	——	○	竹や団子木 に付ける	——	供(長く垂れるように削り、篠竹やくメエダマ)につけて神々・堆肥に供える)	——	10
野田市	三ヶ尾	小	ハナ	ニワトコ	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	——	供(篠竹に挿し、神棚・仏壇・荒神様等に供える)／※暮れに購入	——	11
			アボヘボ(総 称)	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	供(篠竹に粟・稗を模したとされるくハナ)を挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
	瀬戸	小	ハナ	ニワトコ	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	——	供(篠竹に挿し、神棚・仏壇・荒神様等に供える)／※暮れの市で購入	花	

表2-3 削りかけ資料：関東42

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
		アボヘボ(総称)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(割竹に粟・稗を模したとされるくハナ)を挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	11
三ツ掘	小	ハナ	ニワトコ	(※購入)	(※購入)	○	竹に付ける	—	供(篠竹に挿し、神棚・仏壇・荒神様等に供える)／※暮れの市で購入	花	11
		アボヘボ(総称)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(割竹に粟・稗を模したとされるくハナ)を挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
木野崎	小	アボヒボ1	くウツ木	—	—	○	—	頭部十字	供(房状にしたものく粟穂)と皮を剥いたものく稗穂)に粥を付け、門松や松飾の跡・堆肥・建物・神棚等に供える)	作物	11
		アボヒボ／アボヘボ2	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに飾る)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
山崎	小	ハナ／アボヒボ	ニワトコ	(※購入)	(※購入)	○	—	—	供(松飾の場所・堆肥場・掃溜め等に飾る)／※西深井(流山市)から売りに来たものを暮れの市で買った、自分で作る家もあった	花	12
吉春	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)	花	13
		アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
谷津	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)	花	13
		アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
岩名	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、屋内外の神仏に供える)／※1月20日に作り、堆肥に立てた家もある	花	13
五木	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、屋内外の神仏に供える)／※1月20日に作り、堆肥に立てた家もある	花	13
尾崎	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)	花	14
		アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
東金野井	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)	花	14
		アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
中里	小	ハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)／※ハナはよく売りに来っていた	花	15
		アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(粟・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
小山	小	ハナ	く柳	—	—	○	竹に付ける	—	供(花と蕾に模したく削り掛け)を竹に挿し、大神宮(神棚)・仏・荒神・床間・屋敷神・水神(井戸)・便所・物置等に供える)／※ハナはよく売りに来っていた	花	15

表2-3 削りかけ資料：関東43

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
			アボヘボ／アボヒボ	＜柳＞	――	――	○	竹に付ける	――	飾(栗・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	16
	大殿井	小	ハナ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、屋内外の神仏に供える)	花	
			アワボ・ヒエボ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(栗・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
	目吹	小	ハナ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(花と蕾に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、屋内外の神仏に供える)	花	16
			アボヘボ／アボヒボ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(栗・稗に模したく削り掛け)を篠竹に挿し、堆肥・掃溜めに立てる)→立てたままにしておくので直に堆肥に紛れる	作物	
鎌ヶ谷市	佐津間・栗野・軽井沢	小	アブヒボ※	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(花のように削ったニワトコを篠竹に挿し、堆肥に立てる。門松の跡に立てる家もあった)→自然になくなった／※「肥し棒」とも言う	花	17
松戸市	(字不明)	小	削りかけ	――	――	――	○	団子木に付ける	――	飾(＜繭玉＞につける)	――	18
市川市	柏井	小	あぼひぼ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(花に見立てたニワトコを割竹に挿し、神棚・堆肥に供える)→家の四隅に立てると蛇の侵入を防ぐ)	作物	19
	大野	小	あぼひぼ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(花に見立てたニワトコを割竹に挿し、神棚に供える)→家の四隅に立てると蛇の侵入を防ぐ)	作物	19
	大柏	小	花	ニワトコ・＜柳＞	――	――	?	――	――	飾(神仏・堆肥上等)	花	20
栗穂稗穂			ニワトコ・＜柳＞	――	――	?	――	――				
佐倉市	(字不明)	小	けえばし	クリ・＜柳＞	――	――	○	(箸)	――	15日の小豆粥を付け、年神様に12膳、屋内の神仏・松飾りの跡等に1膳ずつ供える→子供の玩具にした／※粥が附くと豊年とされるので粥が付きやすいよう割目やく削りかけをつける	――	21
松尾町	(字不明)	小	けずりかけ	ニワトコ	――	――	○	――	――	成木(「なーるべかなんねーか」と言いながら成木を叩く)	――	22
勝浦市	海岸部※	小	栗穂	ニワトコ	――	――	?	竹に付ける	――	供(「ニワトコの木の割りかけを」竹に挿し、神前に供える)→成木(ナルベコナルベコと言いながら柿木に小豆汁をかけ、栗穂で打った)／※旧豊浜村・旧勝浦町・旧清海村の農家	――	23
市原市	金剛地	小	(カユカキボウ)	＜やなぎ＞	――	――	○	――	頭部十字	※詳細不明	――	24
	萩作	1・7	(ホックリボの穂)	ニワトコ	――	――	○	――	――	子供達がこれで竹竿を叩きながら各戸を門付けくホックリボ)	――	24
富津市	(字不明)	小	アワボ	ニワトコ	――	――	○	――	――	供(1本は神棚に、1本はく山始め(1月4日)に畑に挿し、栗の豊作を祈る)／※ニワトコの先を「細かに刷毛状」にしたもの	作物	25
館山市	畑	小	(成木)	＜クザジ＞	――	――	○	2本1組	――	供(＜モメンバナ＞の所に置く)→成木(子供達が「ナーリメーコ」と唱えながら成木を叩く)／※花のように削る	――	26

神奈川県

川崎市	多摩区生田	小	アーボー・ヘーボー	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(四ツ割の篠竹にニワトコのくケズリカケ)を挿し、堆肥に立てる)	—	1
-----	-------	---	-----------	------	---	---	---	-------	---	----------------------------------	---	---

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	高津区 千年	小	アーボー・ヘーボー	ニワトコ	——	——	？	竹に付ける	——	飾(竹に付けて堆肥に立てる)→これを焼いた灰を堆肥に混ぜ、粟の播種時に用いて豊作祈願した	——	1
			(カユバシ)	ニワトコ	——	——	○※	——	頭部切込	15日の小豆粥を混ぜ、頭部切込に入った米の数で豊凶を占う→田の水口に立てる／※皮を「ささら」にする	——	1
逗子市	池子	小	削りかけ	〈ダイオー〉	1・4 〈山入・山祭り〉	——	○	——	——	供(神棚)	——	2
	桜山	小	ケズリカケ	〈ダイオー〉	1・4 〈山入・山祭り〉	——	○	——	——	供(大神宮・歳神様に1本ずつ供える)→苗代の水口に立てる	——	2
葉山町	木古庭	小	削り花	〈柳〉	——	——	○	——	——	供える	花	3
大和市	福田	小	アワボー ヒエボー	ニワトコ	——	——	○	——	——	15日の粥を混ぜる→成木責め	——	4
綾瀬市	寺尾	小	ケズリハナ	——	——	——	○	——	——	飾る	花	5
	早川	※	削り掛け	——	——	——	○	——	頭部十字	汁粉を混ぜた／※11日の〈倉ピラキ〉の汁粉というが、話者の子供の頃の記憶なので曖昧	——	6
座間市	栗原	小	ケズリカケ	〈ダイノ ゴンゴウ〉	——	——	○	——	——	飾(堆肥の上)	——	4
	入谷	※	削りかけ	ニワトコ	——	——	○	——	——	※神社で祈祷してもらってから苗代の水口に立てる	——	7
	四ツ谷	小	削りかけ	ニワトコ	——	——	○	——	——	1月14日に苗代に立てる	——	7
海老名市	上郷	小	削りかけ	〈ダイノ ゴンゴウ〉	——	——	○	2本1組	——	供(神棚)→15日に下ろす	——	8
	大谷	小	ダイノゴンゴウ	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾(座敷・神棚)	——	9
	門沢橋	小	ケズリカケ	ニワトコ	——	——	○	——	——	飾(マユダマと共に飾る)	——	9
寒川町	岡田 大正月	デーノゴンゴウ	ニワトコ	——	——	○	——	——	——	供(神棚、田の水口に挿す家もあった)／※〈栗棒・稗棒〉を象ったもの ※大正期前後に廃絶	作物	10
藤沢市	石川	小	アボヒボ	〈ダイノ ゴンゴウ〉	——	——	○	竹に付ける	——	供(神棚に供え、堆肥や庭に立てる)	——	11
	遠藤	小	カユバシラ／ ケズリカケ	ニワトコ〈デー ノゴンゴウ〉※	——	——	○	2本1組	頭部十字	供(1本の頭部に団子、もう1本に供え餅を挟み、神棚に)→15日の小豆粥に入れて粥の付き方で年占→成木責め〈ナリモン〉をする→供(神棚)→〈アワボウ・ヒエボウ〉と共に苗代に立てる・20日前に下ろして焼く家もある／※大抵の家では屋敷に植えてある	——	12
	打戻	小	ケズリカケ	——	——	——	○	——	——	※詳細不明	——	13
	宮原	小	ケズリカケ	〈ダイノ ゴンゴウ〉	——	削り掛け用 小刀	○	——	——	供(神棚や家の前)／※ケズリカケを神々に供えないうちは物を削るなど言われた	——	4・11・ 14
	旧村岡村	小	削りかけ	〈ウツギ〉	——	——	○	2本1組	——	供(神棚)→15日の小豆粥を混ぜる	——	15
茅ヶ崎市	(字不明)	小	アーボー・ヒー ボー・アボヘボ	〈ウツギ〉・ ニワトコ〈デー ノゴンゴウ〉	——	——	○	竹に付ける	——	飾(四割の竹に挿し、堆肥に挿す)／※ウツギが粟穂・ニワトコが稗穂という。ニワトコのみで作る家もある	作物	16
			ケズリカケ	〈柳〉・ニワト コ・シキミ	——	小刀	○	——	——	供(神棚・出入口など松飾の跡にぶら下げる)／※「新しいうちはまっ白で美しい」	——	16
			カユバシ・ カユバシラ	ニワトコ〈デー ノゴンゴウ〉	——	——	△	2本1組	——	供(神棚)→15日の粥を混ぜる／※「戯れに人を打った」とする記録も／※「両端から四面の皮を荒く、削りかけのようにそぐ」が「削りかけにするのではなく孕み箸の格好」	——	16
		柳島	小	アワヘボ・ハナ	ニワトコ〈デー ノゴンゴウ〉	——	——	○	竹に付ける	——	供(割竹に削りかけを挿し、堆肥に挿す)	作物

表2-3 削りかけ資料：関東45

【地域】		【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
	芹沢 (中之谷戸)	小	削り掛け	＜アワボヒエボ＞※	—	—	○	2本1組	—	供(2本を藁で縛り、14日に団子を供えた所全てに供える)→16日に団子を下げる際に下げ、モシキ(火付け木)にした／※＜アワボヒエボ＞の木は畑の境に植えてある	—	18
平塚市	(字不明)	船の 作法 ※	ケズリッパ	—	—	—	—	—	—	炊事の焚き付けに使ったケズリッパを海に捨てる際「沖の底のタクミ地獄、暗いときには山見せろ」と言ってケズリッパを三回まわして投げ込む	—	19
		小	ケズリカケ	ニワトコ＜ダイノ コンゴウ＞・ ＜ウツギ＞	—	ケズリカケ用の 小刀・ナイフ・ 鎌	○	—	(頭部十字)	供(床間・仏壇・荒神・エビス・大黒・井戸・稲荷・土蔵等、正月飾りをした場所に。歳神・皇大神宮の棚に供えるものは頭部の割れ目に団子を挟む)→団子を挟んだケズリカケで15日の粥を混ぜる→苗代の水口に立てる	—	19
	横内	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	供える→苗代の水口に立てる	—	13
	旧大野町	小	削り掛け	ニワトコ＜ダイノ コンゴウ＞	—	削り掛け用の 小刀・ナイフ・ 鎌・小カンナ	○	—	頭部十字	供(頭部に団子を挟み、年神に)→15日の小豆粥を混ぜる ※『大野誌』には「中央を細くけづり掛けて人体を形どったもの」とある	—	20・ 21
	城島	小	削り掛け	＜ダイノ コンゴウ＞	—	—	○	—	(頭部十字)	供(神々、大神宮・年神の棚には頭部を十字に割り、団子を挟んだ大きい削り掛けを供える)→団子を挟んだ削り掛けで15日の小豆粥を混ぜる→苗代の水口に立てる	—	20
	岡崎	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	供える→ドンド焼きで燃す→1本だけ残しておき、小豆粥を混ぜる→苗代の水口に立てる	—	13
	北金目	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	※詳細不明	—	13
	土沢 (吉沢)	小	削り掛け	＜ウツギ＞	—	—	○	—	—	飾(神棚・仏間・井戸など、正月飾りをした所全て)	—	20
	土屋	小	削掛	＜ダイノ コンゴウ＞	—	—	○	2本1組	—	供(2本を紙で結んで神棚に)	—	4
大磯町	寺坂	小	ケズリカケ	ニワトコ＜デー ノコンゴウ＞	—	鎌	○	—	—	供(歳神・大神宮・荒神・仏壇・エベスサン・床間・玄関)／※昭和 初年の段階で廃絶か	—	22・ 23
	黒岩	小	ケズリカケ	ニワトコ＜デー ノコンゴウ＞	—	鎌	○	(2本1組)	—	供(歳神・大神宮・荒神・仏壇・エベスサン・床間・玄関等、供え餅をした場所等)／※2本1組にして水引を掛ける家も	—	22・ 23
	西久保	小	ケズリカケ	ニワトコ＜デー ノコンゴウ＞	—	鎌	○	—	(頭部十字)	供(歳神・大神宮・荒神・仏壇・エベスサン・床間・玄関)／※頭部を十字に割って団子を挟み、勝手の長押に挿し、15日の粥を混ぜるに用いる家も	—	22
伊勢原市	石田	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	※詳細不明	—	13
	成瀬	小	ケズリカケ	＜ダイノ コンゴウ＞	—	—	○	—	—	供(神棚)→15日の粥を混ぜて年占	—	24・ 25
	下谷 (大田)	小	削り掛け	＜ダイノ コンゴウ＞	—	—	○	—	—	供(神棚)→15日の粥を混ぜて年占	—	25
	下平間	小	削り掛け	＜ダイノ ゴンゴウ＞	—	—	○	—	—	供(年神棚)→苗代の水口に立てる	—	6・26
	東富岡	※	削り掛	＜カツノキ＞	—	—	○	—	—	苗代の水口に立てる	—	26
	神戸 (比々多)	小	ケズリカケ	＜ダイノ コンゴウ＞	—	—	○	—	頭部切込	供(神棚・荒神サン)→神棚に供えたものの頭部に団子を挟み、15日の小豆粥を混ぜて年占。荒神様のものは一年中供えておく	—	24・ 25
	三ノ宮 (栗原)	小	削り掛け	＜ダイノ ゴンゴウ＞	—	—	○	—	(頭部切込)	供(神棚・荒神棚)→神棚のものは15日に下ろし、頭部を割って団子を挟み、粥を混ぜて年占する家も。荒神棚のものは1年中供えておく場合が多い	—	6

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
厚木市	猿ヶ島	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	頭部切込※	供→1本の頭部を十文字に割って団子を挟み、15日の小豆粥を混ぜる／もう1本の頭部は切込を入れ焼米を挟んで苗代に挿す	——	27
	山際	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	頭部十字	供→頭部に団子を挟み、15日の小豆粥を混ぜる→供(主屋の長押等に挿す)→苗代に供える	——	27
	棚沢	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	——	供(主屋の長押等に挿す)→苗代に供える	——	27
	妻田	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	——	供(2本を紙で縛り、団子で座敷の長押等に挿す→15日に朝、エビス棚近くの長押に立てる)→苗代に供える	——	27
	金田	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	——	供(メーダマの木<シラガミサン>に供える)→苗代に供える	——	27
	戸室	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	——	供(主屋の長押等に挿す)→苗代に供える	——	27
	温水	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	鉤型の小刀	○	2本1組	——	飾(主屋の長押／ダンゴの木に立てかける)→苗代に供える／ダンゴの木と共に<セーノカミド>に納める／※昭和30年頃で廃絶	——	27
	長谷	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	——	供→2月1日に下ろし、稲荷講の際に他のお飾りと共に燃した	——	27
	愛甲	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴ>	——	——	○	——	——	供(道祖神)	——	27
	酒井	小	ケズリカケ	ニワトコ<ダイノコンゴウ>※	——	——	○	——	頭部十字	頭部に団子を挟み、15日の粥を混ぜて年占／※ニワトコは畑の境に植栽	——	27
	長沼	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴの木>	——	——	○	2本1組	頭部十字	頭部に団子を挟み、15日(30日?)の小豆粥を混ぜる→主屋の長押にさ挿す→苗代に供える	——	27
秦野市	寺山	小	ケズリカケ	——	——	削り掛け用ナタ	○	——	——	——	——	14
	大倉	小	あわぼ	<だいのこんごう>	——	——	○	——	——	供(年神・神棚・仏壇・えびす・荒神など)／※「だいのこんごう」の皮をむき「けずりかけ」にしたもの	——	4
	東田原・西田原	小	削り花	ニワトコ<だいのこんごう>	——	——	○	——	頭部切込	供(神棚・床の間)→頭部に団子を挟み、15日の小豆粥を混ぜて年占→成木責め	——	4・28
	掘西(黒木)	小	ケズリカケ	——	——	——	○	——	——	——	——	14
	今泉	小	ケズリカケ	ニワトコ<デュノコンゴウ>	——	古い鎌	○	2本1組	——	供(家により、団子木の所に置く、神棚に供える、屋根に挿す等)→20日の風に合わせるなどと言って19日に降ろして各家で燃す／※ニワトコは山から採ってくる	——	29
	渋沢(峠)	小	削り掛け	<ダイノコンゴウ>	1・13	——	○	——	——	供(年神棚・サイノカミ・神棚・稲荷・庚申様)→20日の風に吹かせるなどと言って19日か20日朝に下ろす→田の水口に挿すと虫がつかないという	——	6
城山町	(字不明)	小	削り花	ニワトコ・<カツノキ>	——	——	○	——	——	飾(神棚)	——	30
	小倉(西村)	小	削り掛け	ニワトコ	——	——	○	竹に付ける	——	※割竹に挿す	——	31
藤野町	佐野川(沢井)	小	ケズリカケ	ヌルデ<カツンボ>	1・2<山入>※ ／1・13	——	○	——	——	飾(団子の木に飾る)／山入りは1月4日にする家もある	——	28・32

【地域】		【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
藤野町	佐野川	小	削りかけ	ヌルデ・ニワトコ・ミズキ・〈柳〉?	—	—	○	—	—	供(神社・家の神棚・戸口)	—	33
津久井町	青根	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	※「ケズリカケを作るが、アワとヒエを作る」(詳細不明)	—	4
中井町	境	小	けずりかけ	〈だいのこんごう〉	—	—	○	—	—	供(5段に削り団子を挿して年神に供える)→15日の小豆粥をつける→成木責め→粟の播種日に囲炉裏で焚く	—	4
	岩倉	小	(削りかけ)	ニワトコ〈ダイノコンゴウ〉	—	特別な小刀	○	—	—	供(松葉と共に藁で結わえ、神仏に供える)／※米と粟穂を象ったもの	作物	17
大井町	山田	小	けずりかけ	〈だいのこんごう〉	—	—	○	—	—	15日の粥を混ぜる→成木責め	—	4
松田町	寄	小	ケズリカケ	ニワトコ〈ダイノコンゴウ〉	—	—	○	—	—	供える	—	34
開成町	金井島	小	ケズリカケ	ブナ	1・4 〈初山入〉	—	○	—	—	供(神様)→成木(「成るか成らぬか」と言いながらケズリカケで木を叩き、粥をつける)	—	35
	吉田島	小	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	嫁(家々を門付け、初嫁のいる家では子宝に恵まれるように嫁の尻をなでたくアクマツパライ)／成木(15日のオジヤを頭部に付け、二人が問答した)	—	35
山北町	(字不明)	小	ケズリカケ	—	1・4 〈初山〉	—	○	—	—	供(山の神)／※この日、馬持ちは〈カツの木〉を伐つてないけないと言う	—	36
	箒沢	小	アワンボー	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4 〈初山〉	—	○	竹に付ける	—	供(削りかけた棒3本を割竹に挿し、神棚に下げる)	作物	14・37・38
			(稲の穂)			—	○	—	—	※稲の穂に見立てたものを作った	作物	
			門入道			—	○	2本1組	目鼻描く	供(住居や倉入口の敷居の上)→19日中にイロリで燃す ※耳の部分の削りかけにする／※かつては削り掛けだったという	人形	
	西丹沢	小	ケズリカケ	ニワトコ	—	—	○	—	—	供(団子を挟んで神棚に供える)	—	39
			ダイノコ	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	?	—	—	1本は15日の小豆粥を混ぜ、歳神に供える、もう1本は苗代の水口に立てる	—	39
	上ノ原	小	(花)	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	—	—	供(年神)	花	38
	玄倉	小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	—	—	×	2本1組	目鼻描く	供(住宅・倉庫・物置等のあらゆる門口の敷居の上に1対で置く)	人形	37・40
			削り掛け	—	—	—	○	—	—	—	—	41
			アワボヒエボ	—	—	—	○	竹に付ける	—	—	—	14
			粥かき棒	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	—	頭部切込	頭部に団子を挟み、小豆粥を混ぜる→苗代の水口に立て、鳥害を防ぐと言った／嫁(子供達が初嫁の家を門付け、金を貰った)	—	14・38
	世附	小	アワボ・ヘーボ カユカキボウ	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	竹に付ける	—	—	作物	38
						—	○	—	—	15日の小豆粥を混ぜ、神棚に供える	—	
	深沢	小	(花)	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	—	—	供(年神)	花	38
			アワッポ			—	○	2本1組	—	供(神棚・玄関)	作物	
			門入道			—	○	2本1組	目鼻描く	飾(玄関脇に置く)／ヘノヘノモヘジの人形を置く家と削り掛けを置く家があった	人形	
	都夫良野	小	アワボ	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	竹に付ける	—	※割竹に3～5本の削りかけを挿す	作物	38
			門入道			—	○	※	目鼻描く	飾(玄関)／※ヘノヘノモヘジの人形と削り掛けの両方を立てた	人形	

表2-3 削りかけ資料：関東48

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	鍛冶屋敷	小	門入道	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	※	目鼻描く	飾(玄関)／※へノへノモヘジの人形と削り掛けの両方を立てた	人形	38	
	古宿	小	(花)	〈カツの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	—	—	供(年神)	花	38	
	中川	小	門入道	ヌルデ	—	—	○	2本1組	目鼻描く	供(住宅・倉庫・物置等のあらゆる門口の敷居の上に1対で置く)	人形	40	
	中川 (大仏)	小	門入道	—	—	—	○	2本1組	目鼻描く	※耳の部分を削りかけにする	人形	14	
	中川(畑)	小	ケズリバナ	—	—	—	○	2本1組	—	—	—	14	
	笹附	小	ケズリバナ	—	—	—	○	—	—	—	—	—	14
			ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	—	—	—	14
			アワボ	—	—	—	○	竹に付ける	—	—	—	—	14
皆瀬川 (八町)	小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	—	—	○	—	—	供(門口に縛りつける)→14日に燃す／※両端から削りかける	人形	37		
小田原 市	旧町場	小	削りかけ	〈柳〉	—	—	○	—	—	飾(家の入口に掛ける)／※昭和初年の記録	花	43	
南足柄 市	矢倉沢	小	削り掛け	〈カツの木〉	1・4〈初山〉	—	○	—	—	※詳細不明	—	28	
	地藏堂	小	ケズリカケ	〈カツノ木〉	—	—	○	—	—	供(年神棚)→15日の小豆粥を付け、成木責めをする	—	4	
箱根町	宮城野	小	削り掛け／ 粟穂稗穂※	〈かつの木〉	1・4 〈初山〉	—	○	—	頭部十字	供(神棚)→頭部に団子を挟み小豆粥を混ぜて粥占い→成木(3本束ねて果樹を叩く)→苗代の水口に立てる／※製作時に余った〈かつの木〉は15日の小豆粥や田植時の赤飯を炊く際に用いる／※家によっては粟穂・稗穂を象った造形にした	—	4・28	
湯河原 町	吉浜	小	ケズリバナ	—	—	—	○	—	—	—	—	14	

東京都

足立区	(字不明)	小	粥箸	＜柳＞	—	—	○	(箸)	—	神仏の箸にする	箸	1
	西保木間	小	けづりかけ	＜柳＞	—	—	○	—	—	供(神様)	花	2
			(粥かき棒)	—	—	—	○	—	—	15日の粥をつける	—	2
	鹿浜	小	削り花	＜柳＞	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ニワトコの枝2本、削り花1本を割竹に成らし、神様・神棚・門松の跡に飾る)	花	2
葛飾区	(字不明)	小	ヤナギのハナ ・ケズリバナ	＜柳＞	購入※	購入※	○	団子木に 付ける	—	飾(くまゆだまだんご(ネコヤナギに団子をさしたもの)につけて飾る)／※行商が売りにきた	花	3・4
	柴又	小	柳箸	＜柳＞	—	—	？※	(箸)	—	15日の小豆粥をつけて神様に2対供える。人も箸として使用／※「ささぐれに削」と記載あり	箸	2
江戸川 区	雷	小	けずりかけ	＜柳＞※	—	茶碗の破片	○	団子を 付ける？	—	飾(枝先を削りかけにした柳に団子＜メーダマ＞をつけて神仏・畑に、家によっては台所・井戸・便所等にも飾る)／※＜柳＞は家の周りに生えているものを用いる	花	5
	小松川	小	ケズリカケ	＜柳＞	購入※	購入※	○	団子木に 付ける	—	飾供(くまユダマ(柳に団子をつけたもの)につけて神仏・井戸・苗代などに飾る)／※暮れに上一色や篠崎(葛飾区)から売りに来た	花	6
	平井	小	ケズリカケ	＜柳＞	購入※	購入※	○	団子木に 付ける	—	飾供(くまユダマ(柳に団子をつけたもの)につけて神仏・井戸・苗代などに飾る)／※暮れに上一色や篠崎(葛飾区)から売りに来た	花	6

【地域】		【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
	新堀	小	ケズリカケ	〈柳〉	—	小刀※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマ団子(く柳)に団子をつけたもの)につけて神棚・畑・苗代(ナーマ)に飾る)／※12月に入ると葛飾区内各方面に売りに行った。／※押して削る	花	6
	谷河内	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマ団子(く柳)に団子をつけたもの)につけて神棚・畑・苗代(ナーマ)に飾る)／※12月に入ると新堀から売りに来た	花	6
	鹿骨	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマ団子(く柳)に団子をつけたもの)につけて神棚・畑・苗代(ナーマ)に飾る)／※12月に入ると新堀から売りに来た	花	6
	一之江(椿)	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマ団子(く柳)に団子をつけたもの)につけて神棚・畑・苗代(ナーマ)に飾る)／※12月に入ると新堀から売りに来た	花	6
	二之江町	小	けずりかけ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマ団子(く柳)に団子をつけたもの)につけて神棚・畑・苗代(ナーマ)に飾る)／※12月に入ると新堀から売りに来た	花	6
	篠崎町	小	けずりかけ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマだんご(柳に団子をつけたもの)につけて苗代・神仏・井戸などに飾る)／※12月に入ると新堀から売りに来た	花	6
	小岩	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマだんご(柳に団子をつけたもの)につけて苗代・畑・神仏・井戸・物置などに飾る)	花	2・6・7
	鎌田	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマだんご(柳に団子をつけたもの)につけて苗代・神仏・井戸などに飾る)	花	6
	葛西地区	小	ケズリカケ	〈柳〉	購入※	購入※	○	団子木に付ける	—	飾(くメエダマだんご(柳に団子をつけたもの)につけて神仏・畑などに飾る)／※暮れに売りに来た	花	6
	長島	小	ケズリカケ	〈柳〉	—	—	○	団子木に付ける	—	飾(枝先を削りかけにした柳に団子(バタバタ)をつけて神仏・荒神様などに飾る)	花	2・7
	中央	小	柳の花(ケズリカケ)	〈柳〉	—	—	○	団子木に付ける	—	飾(くマユダマダンゴ(柳に団子をつけたもの)につけて神仏・井戸・物置・苗代に飾る)	花	2
	松島	小	柳の花(ケズリカケ)	〈柳〉	—	—	○	団子木に付ける	—	飾(くマユダマダンゴ(柳に団子をつけたもの)につけて神仏・井戸・物置・苗代に飾る)	花	2
新宿区	中落合	1・7	アボヘボ(総称)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(棒状のニワトコと削り花各2本を竹にさし、神棚に飾る)→13日におろし、代わりにくマユダマを飾り実が成ったとする	花作物	2
板橋区	大門	1・7	サクノハナ	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(ニワトコの本を削りかけにしたものを割竹にさし、家の神・堆肥場などに1本ずつ飾る)	—	2
	徳丸	1・7	ケズリカケ	—	—	—	○	—	—	飾(玄閼・戸袋・神棚)→1・7(七草)には取り払う	花	2
		小	カユカキ棒	—	—	—	—	2本1組	頭部十字	供(水口・神棚)→頭部にくマユダマを挟み、15日の小豆粥を混ぜて一年の豊凶を占う	—	2
清瀬市	(字不明)	小	あぼ・ひぼ	ニワトコ(かつんぼ)	—	—	○	竹に付ける	—	飾(く花)に削ったものを竹に挿し、堆肥場に立てる)	—	8
	野塩	小	あぼひぼの木(総称)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(皮を剥いた棒(人參・栗など)、剥かない棒(牛蒡・キビなど)、削り花(はな)を竹に成らし、堆肥に立てる)→「20日の風に当てるな」と言い15日頃取り払う	—	2
			(俵)	ニワトコ	—	—	—	7本1組	—	供(神棚)	俵	2
			花	ニワトコ	—	—	×	—	—	供(芽がついたままのニワトコを花として神棚に)	花	2
	上清戸	小	あぼ・ひぼ	ニワトコ(かつんぼ)	—	—	○	竹に付ける	—	飾(く花)に削ったものを竹に挿し、堆肥場に立てる)	—	8
	清戸	小	あぼひぼの木(総称)	ニワトコ	—	—	○	竹に付ける	—	飾(皮を剥いた棒(人參・栗など)、剥かない棒(牛蒡・キビなど)、削り花(はな)を竹に成らし、堆肥に立てる)→「20日の風に当てるな」と言い15日頃取り払う	—	2

表2-3 削りかけ資料：関東50

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
			(俵)	ニワトコ	――	――	―	7本1組	――	供(神棚)	俵	2
			花	ニワトコ	――	――	×	――	――	供(芽がついたままのニワトコを花として神棚に)	花	2
保谷市	下保谷	小	花	〈ニハトリコ〉	――	――	○	竹に付ける	――	飾(竹に〈花〉や農作物のツクリモノをつけ、堆肥場に立てる)→20日の風に合わせるなど言い、20日頃取り去る→辻で燃す	――	9
東久留米市	旧久留米村	小	花	〈ニハトリコ〉	――	――	○	竹に付ける	――	飾(竹に〈花〉や農作物のツクリモノをつけ、堆肥場に立てる)→20日の風に合わせるなど言い、20日頃取り去る→辻で燃す	――	9
武蔵野市	(字不明)	小	アワボヒエボ／アボヘボ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	供(菊・米・麦・豆・粟・稗等のハナを作り、神棚傍の長押に飾る、堆肥にも立てる)→20日の風に合わせるなど言ってそれまでに下げるが、保存しておき、蛇が家に入ったとき追い払う呪具とする	花	10
多摩市	(字不明)	小	あぼへぼ	ニワトコ	――	――	○	竹に付ける	――	飾(割り竹に挿し、神々に供え、堆肥に挿す)	作物	11
調布市	入間町	小	アーボヘーボ	ニワトコ	1・14	鉋	？※	竹に付ける	――	飾(切込みを付けた木棒〈稗穂〉と付けない木棒〈粟穂〉を竹に挿し、堆肥場に立てる)→18日に下げる／※この他ニワトコを10～13本束ねたものを大神宮・荒神・エベス大黒に供えた／※ニワトコは敷地内に植えてある	作物	12
あきるの市	網代	年末	アアボヒエボ	――	――	――	―	――	――	(詳細不明)	――	2
	養沢	小	アーボヘーボ	――	――	――	―	――	――	供(詳細不明)	作物	2
			花	〈ノウギ・フシノキ〉	――	――	○	――	――	供(詳細不明)	花	2
五日市町	(字不明)	小	粟穂稗穂	――	――	――	○	――	――	※木を削って菊の花状にしたものを飾る	作物	13
利島	利島村	小	ゴイワイヅエ・棒ちぎれ	――	前年の1・6 〈キツパライ〉	――	○	2本1組	――	1本を男児が持ち寄り、「ゴイワイヅエの歌」を歌いながら削りかけ部分が取れるまで神社の石垣を叩く〈ゴイワイ〉／もう1本は「麦の代り」として神棚に供える	――	2・14・15
神津島	神津島村	小	ハナ	――	――	――	○	――	――	供(子供達が塞之神の祠へ椿・団子と共に供える)	――	16